タカラスタンダード

石油給湯機付ふろがま
取扱説明書

お客様へ

本製品は消費生活用製品安全法（消安法）で指定される特定保守製品です。
法定点検を受けるために所有者登録を行ってください。
（製品に同梱した「所有者票」に記入し投函願います。）

エフディーダブル　エスエイ　エイエックスピーエム
FDW-SA470AXPM

エフディーダブル　エスエイ　エイエックスピーエフエフ
FDW-SA470AXPFF

エフディーダブル　エスエイ　エイエックスピーエム
FDW-SA380AXPM

このたびは石油給湯機付ふろがまをお買い上げくださいましてありがとうございます。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
まちがった取扱いは思わぬ事故や故障の原因となります。

お読みになった後も、取扱説明書は、保証書、工事説明書と共に必ず保管してください。

もくじ

1 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください） 1～2
2 各部の名称…… 3～7
■外観図…… 3
■構造図…… 4～5
■リモコン…… 5～7
3 使用前の準備…… 8
■燃料…… 8
■給油…… 8
■運転開始前の準備と確認…… 8
4 使用方法…… 9～25
■はじめてお使いになる場合…… 9
■使用方法…… 10～22
■凍結予防…… 23～24
■使用上の注意…… 25
■長期間使用しないとき…… 25
5 安全装置…… 26
6 その他の装置…… 26
7 点検・手入れ…… 27～29
■日常の点検・手入れ…… 27～28
■定期点検…… 29
8 故障・異常の見分け方と処置方法… 30～33
9 部品交換のしかた…… 33
10 仕様…… 34
11 アフターサービス…… 35
12 据付け…… 36～41

●本品は一般家庭の給湯以外の目的（例えば業務用の使用・給湯以外の使用・車両・船舶への搭載）に使用しないでください。
●飲用または調理に用いないでください。

1 特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合はガソリン禁止)が描かれています。

❗記号は行為を指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

⚠警告(WARNING)

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。

給排気筒(管、ホース)外れ危険

給排気筒（管、ホース）が外れたままで使用しないでください。外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
（該当機種 FDW-SA470AXPFF ）

給排気筒トップ閉そく危険

給排気筒トップの周りが雪でふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
（該当機種 FDW-SA470AXPFF）

給排気筒トップには金網などは付けない

給排気筒トップには、虫よけのための金網などは付けないでください。
給排気の妨げになり、異常燃焼を起こし排ガスが室内に漏れる可能性があり危険です。
（該当機種 FDW-SA470AXPFF ）

⚠注意(CAUTION)

空だきに注意

浴槽に水が入っていることを確認してください。火災のおそれがあります。

高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、高温部、給排気筒トップ、吹出口、枠上部に手などふれないでください。
やけどのおそれがあります。

高温注意

●シャワーを使用する場合、手で湯の温度を確かめてから使用してください。
やけどのおそれがあります。
●入浴するときは、手で湯温を確かめてください。
やけどのおそれがあります。
●循環口のまわりは高温になるので注意してください。
やけどのおそれがあります。

⚠注意(CAUTION)

可燃物禁止
機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。
火災のおそれがあります。

囲い禁止
機器や吹出口を波板などで囲わないでください。
不完全燃焼や火災のおそれがあります。
(該当機種 FDW-SA470AXPM、FDW-SA380AXPM)

分解修理・改造の禁止
故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。

異常・故障時使用禁止
油漏れやにおい、すすの発生、炎の色など異常や故障と思われるときは使用しないでください。
事故の原因になります。

電源コードを傷めない
電源コードに無理な力を加えたり、物をのせたりしないでください。また、電源コードを束ねないでください。
電源プラグを抜きときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。

結露に注意
リモコンの運転スイッチを「切」の状態で通水しないでください。機内に結露水が発生し故障の原因になることがあります。

電源プラグは確実に差し込む
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。(また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。)
火災の原因になります。ぬれた手でのプラグの抜き差しはしないでください。感電の原因になります。

太陽熱温水器とは絶対に接続しない
お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因となります。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く
長期間使用しないときは、電源プラグを抜くとともに凍結予防の処置をしてください。
火災や予想しない事故の原因になります。

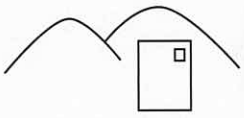
電源プラグのお手入れをする
ときどきは電源プラグを抜き、ほこり(及び金属物)を除去してください。(ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり)火災の原因になります。

アースについて
専用のアース(線)を必ず取り付けてください。
感電のおそれがあります。アース(線)は、ガス管や水道管、電話や避雷針のアース(線)には絶対に接続しないでください。

不良灯油(変質灯油、不純灯油)禁止
変質灯油(ひと夏持ち越した灯油等)、不純灯油(灯油以外の油・水・ごみが混入した灯油など)を使用しないでください。機器の故障の原因になります。

ゴム製送油管の屋外使用禁止
ゴム製送油管は、屋外で使用しないでください。屋外での使用は禁止されています。

標高が1,500mを超える高地では使用しないでください。
(空気の濃度が薄いため、燃焼に必要な空気が不足します。)



子供の入浴に注意する
浴槽循環口付近で、もぐらないでください。特に小さなお子様には注意してください。思わぬ事故の原因になります。

お願い(NOTICE)

入浴剤・洗剤に注意
硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器をいためますので、使用しないでください。

凍結に注意
冬期は温かい地域でも給水・給湯配管、ふろ配管の水が凍結し、水もれや故障の原因になります。

循環口について
浴槽の循環口(フィルタ)を必ず取り付けてください。また、タオル等でふさがないでください。おふろの沸き上げができません。また、機器の故障の原因になります。

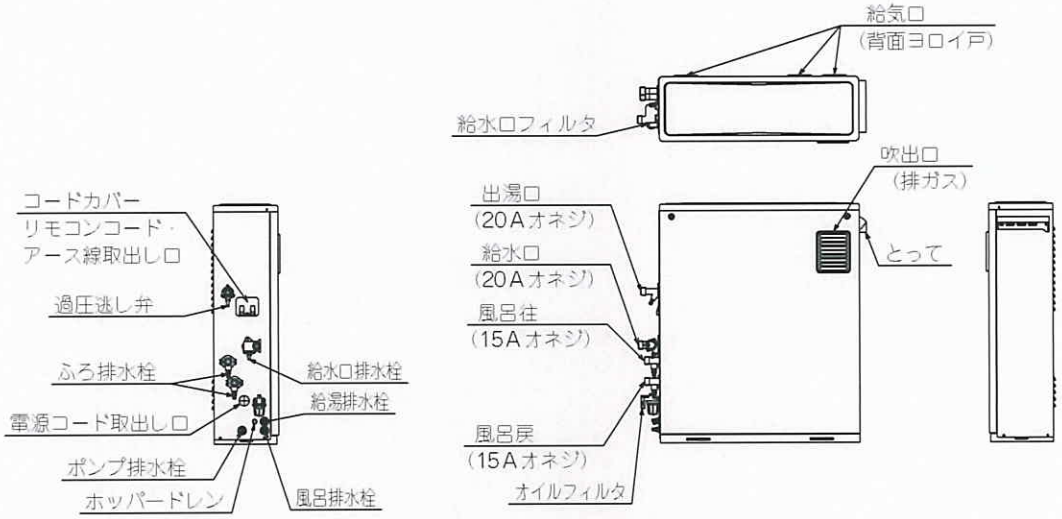
使用用途について
給湯・シャワー・お風呂をわかす以外の用途には使用しないでください。

温泉水、井戸水、地下水を使用しない
水質によっては、機器の配管内部に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。この場合は保証期間内でも有料となります。

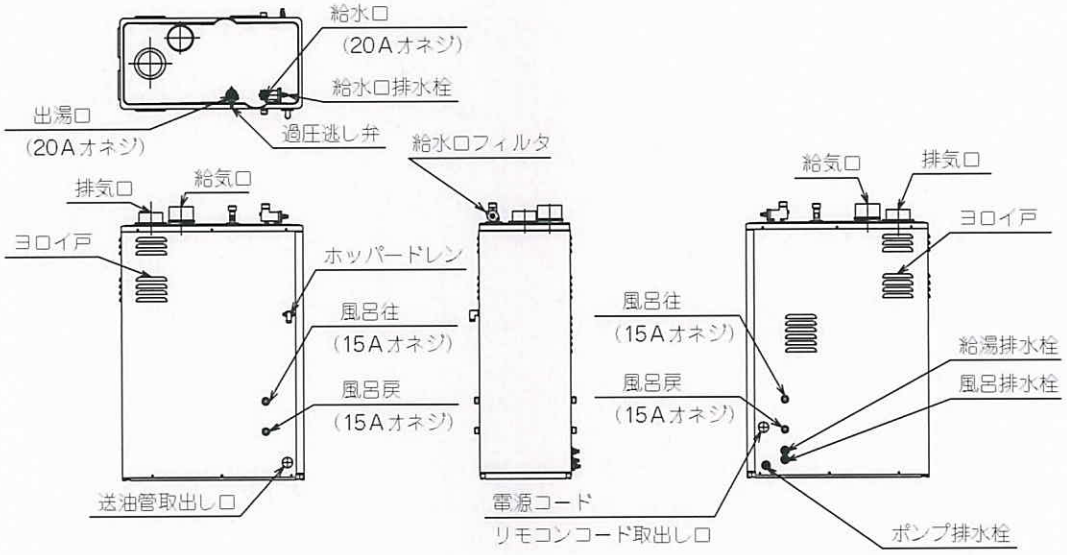
2 各部の名称

外観図

■屋外用開放形 〔FDW-SA470AXPM〕
〔FDW-SA380AXPM〕

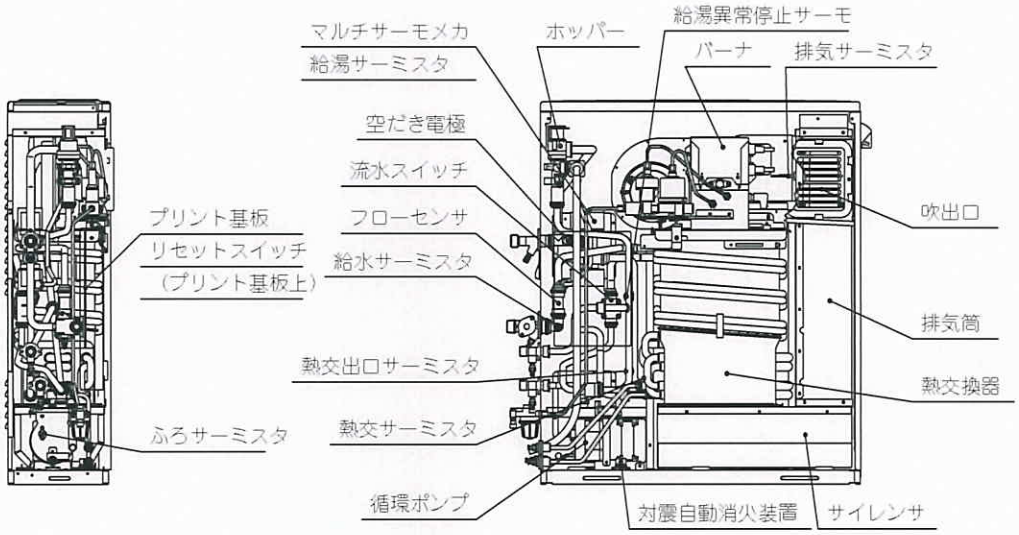


■屋内用密閉式強制給排気形 〔FDW-SA470AXPFF〕

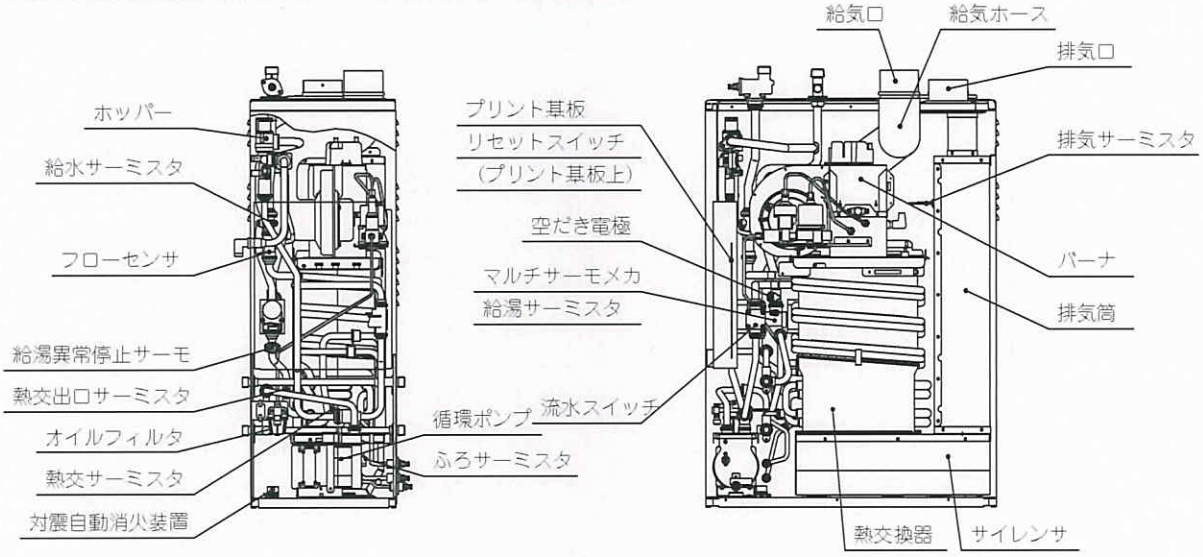


構造図

■屋外用開放形 〔FDW-SA470AXPM〕
〔FDW-SA380AXPM〕



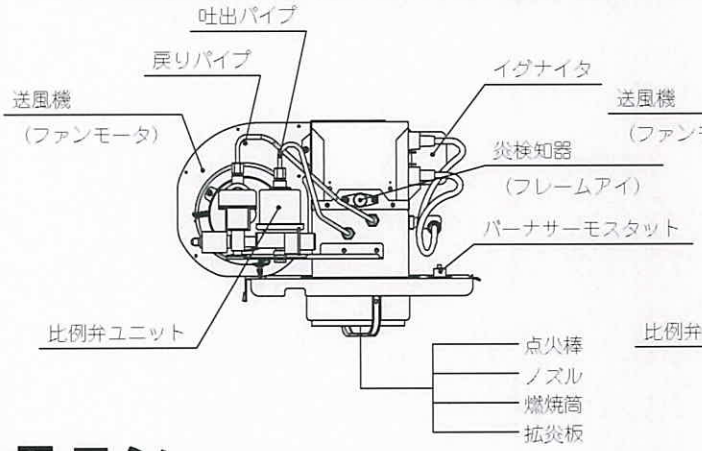
■屋内用密閉式強制給排気形 〔FDW-SA470AXPFF〕



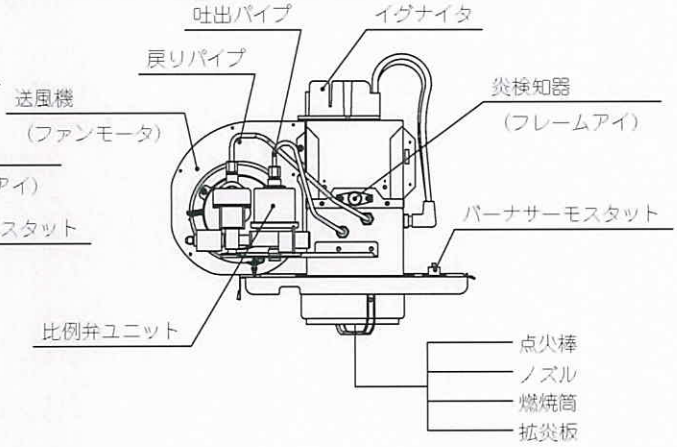
構造図

バーナ

FDW-SA470AXPM、FDW-SA380AXPM

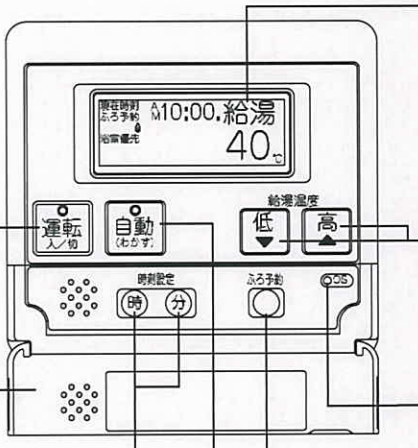


FDW-SA470AXPFF



リモコン

メインリモコン



運転スイッチ
運転ランプ 10ページ

機器の運転を「入」「切」できます。スイッチが「入」のときは運転ランプが点灯します。

蛍光管表示部 7ページ

・リモコンの電力消費を抑えるため、約5分間給湯・ふろ運転またはリモコンスイッチ操作が行われないと蛍光管表示部が消灯します。
運転ランプのみ点灯して運転スイッチが「入」であることをお知らせします。
給湯・ふろ運転またはリモコンスイッチ操作を行うと蛍光管表示部が点灯します。
（給湯温度を60℃以上に設定したときは、蛍光管表示部は消灯しません。）

給湯温度設定スイッチ 10ページ

・給湯の温度が設定できます。
・浴室優先 が表示されているときは給湯温度の設定ができません。

オプションスイッチ 20ページ

・保温時間、音声ガイドの音量、蛍光管表示部の明るさなどの変更が可能です。

カバーふたを開けた状態です。

時刻設定㊐㊑スイッチ 9ページ

㊐と㊑スイッチを同時に押し続けPM12：00. の点滅表示になったら㊐㊑で時刻を合わせます。

ふろ予約スイッチ 16ページ

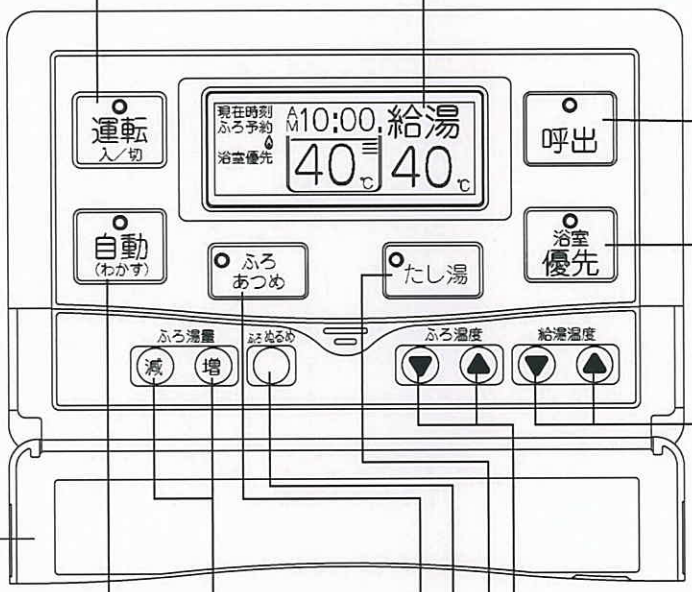
・入浴可能時刻を予約できます。
・ふろ予約スイッチを「入」にすると予約30分前から自動運転を行います。
・ふろ予約スイッチが入っていると蛍光管表示部の ふろ予約 表示が点灯し時計表示部がふろ予約時刻表示になります。
・ふろ予約スイッチを「入」にしてから㊐㊑スイッチでふろ予約時刻を設定します。

自動スイッチ
自動ランプ 14ページ

・スイッチを押すと自動ランプが点滅し、浴槽に設定量までお湯張りを行います。
・設定量までお湯張りすると自動ランプが点灯になり、メロディ音と音声ガイドでお知らせします。その後は、約４時間の保温運転を行い自動的に停止します。
・お湯張り量の設定は、浴室リモコンで行います。

リモコン

浴室リモコン



運転スイッチ 運転ランプ　10ページ

機器の運転を「入」「切」できます。スイッチが「入」のときは運転ランプが点灯します。

蛍光管表示部　7ページ

・リモコンの電力消費を抑えるため、約5分間給湯・ふろ運転またはリモコンスイッチ操作が行われないと蛍光管表示部が消灯します。
運転ランプのみ点灯して運転スイッチが「入」であることをお知らせします。
給湯・ふろ運転またはリモコンスイッチ操作を行うと蛍光管表示部が点灯します。
（給湯温度を60℃以上に設定したときは、蛍光管表示部は消灯しません。）

呼出スイッチ 呼出ランプ　19ページ

・スイッチを押すと、メインリモコンと浴室リモコンでブザーと音声ガイドで呼び出しします。
・呼出中は呼出ランプが点灯します。

浴室優先スイッチ 浴室優先ランプ　10ページ

（浴室でシャワーを使うときは必ずスイッチを「入」にしてください。）

・スイッチが「入」のとき蛍光管表示部 浴室優先 が表示され、浴室リモコンで設定した湯温で給湯します。
・スイッチが「入」のときはメインリモコンでの給湯温度の設定ができません。
・スイッチが「入」のとき浴室優先ランプが点灯します。

カバーふたを開けた状態です。

ふろ湯量設定スイッチ　13ページ

自動運転時の湯張り量が設定できます。

給湯温度設定スイッチ　10ページ

・給湯の温度が設定できます。
・浴室リモコンで給湯の温度を設定するときは、浴室優先スイッチを「入」にしてから設定してください。

自動スイッチ 自動ランプ　14ページ

・スイッチを押すと自動ランプが点滅し、浴槽に設定量までお湯張りを行います。
・設定量までお湯張りすると自動ランプが点灯になり、メロディ音と音声ガイドでお知らせします。その後は、約４時間の保温運転を行い自動的に停止します。
・お湯張り量の設定は、浴室リモコンで行います。

ふろ温度設定スイッチ　13ページ

ふろの沸き上げ温度が設定できます。

たし湯スイッチ たし湯ランプ　18ページ

・たっぷりの水位にしたいときや、残り湯にお湯をたしたいときなど、30L（1回押し）、60L（2回押し）、90L（3回押し）のたし湯ができます。

ふろあつめスイッチ ふろあつめランプ　17ページ

・入浴してぬるいときは、ふろあつめ運転をしてください。
・ふろ温度設定より約2℃高く沸き上げて自動的に停止します。
・適温になりふろあつめ運転を途中で停止したいときは、スイッチを「切」にしてください。

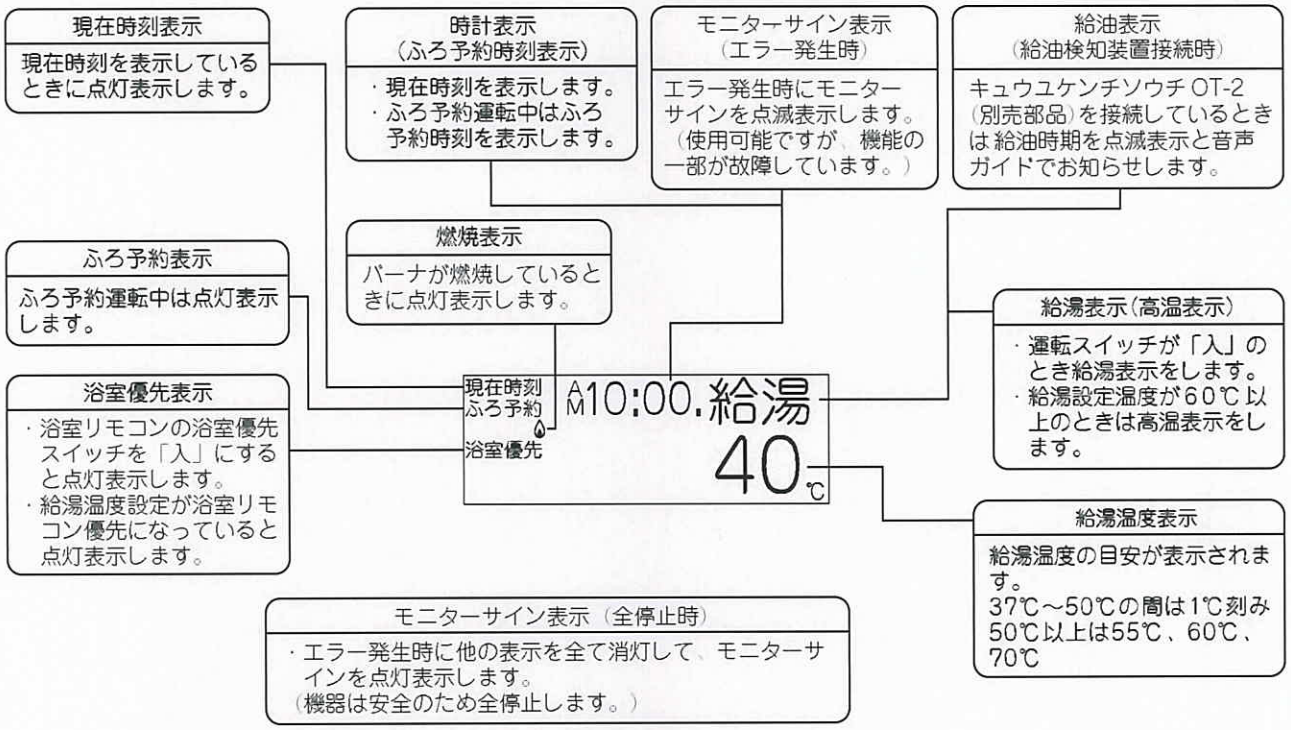
ふろぬるめスイッチ　19ページ

・入浴してあついときは、ふろぬるめ運転をしてください。
・浴槽の循環口より注水します。
・適温になりふろぬるめの運転を途中で停止したいときは、スイッチを「切」にしてください。

リモコン

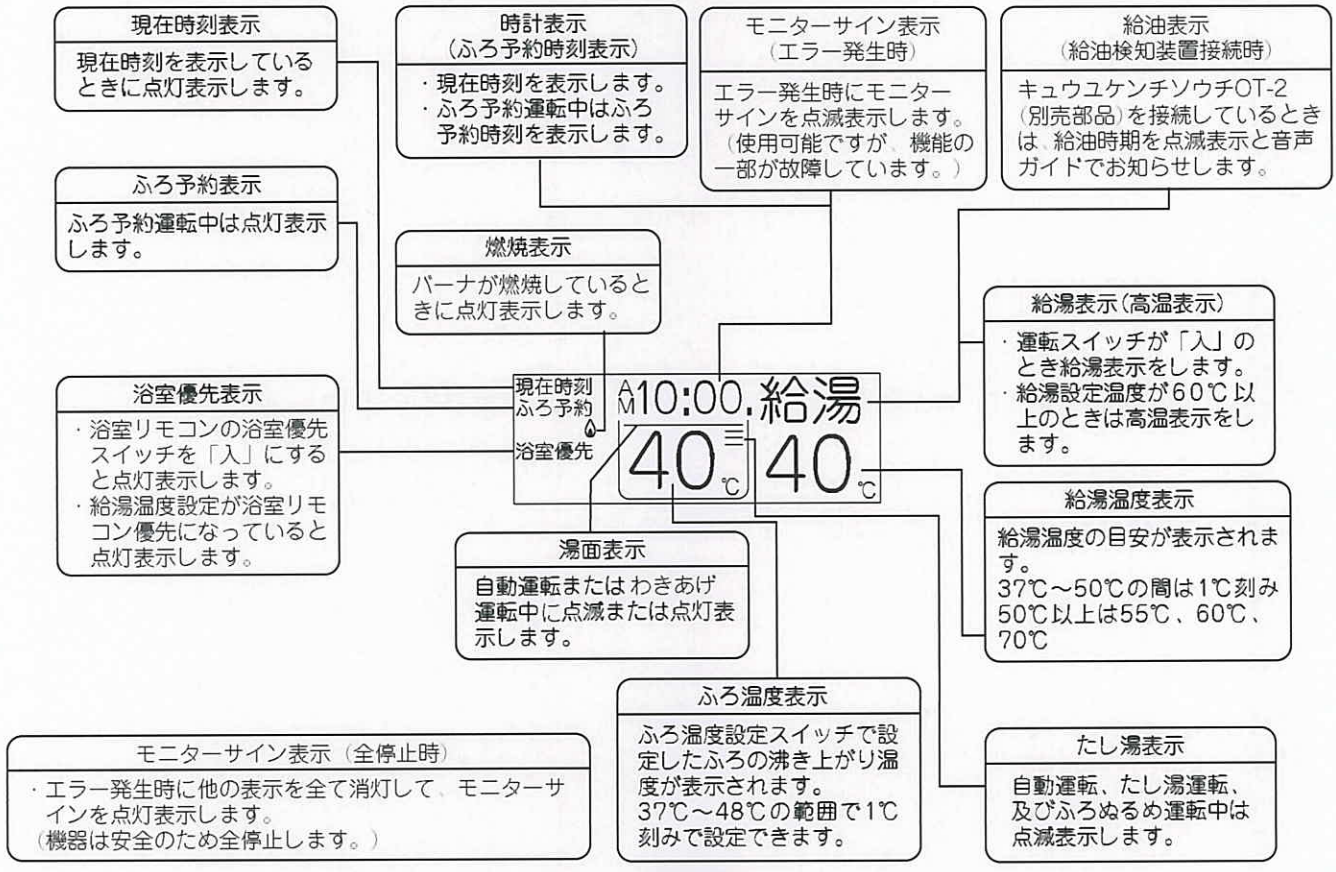
メインリモコン蛍光管表示部

リモコンの電力消費を抑えるため、約5分間給湯・ふろ運転またはリモコンスイッチ操作が行われないとリモコン蛍光管表示部が消灯します。
（給湯温度を60℃以上に設定したときは、リモコン蛍光管表示部は消灯しません。）



浴室リモコン蛍光管表示部

リモコンの電力消費を抑えるため、約5分間給湯・ふろ運転またはリモコンスイッチ操作が行われないとリモコン蛍光管表示部が消灯します。
（給湯温度を60℃以上に設定したときは、リモコン蛍光管表示部は消灯しません。）



3 使用前の準備

燃　料

- ⚠警告 **ガソリンなどの揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。**
- 燃料は、灯油(JIS 1 号灯油)を必ず使用してください。
- 変質灯油、不純灯油は、絶対に使用しないでください。機器の故障の原因になります。

給　油

■給油の際の注意

- 給油の際に、水、ゴミなどを入れないよう特に注意してください。水、ゴミなどは燃焼不良や、バーナの寿命低下などの原因になります。

■油タンクの水抜き

- 油タンクに水が混入していた場合は、必ず水抜きを行ってください。

■給油口ふたは、確実に締めてください。

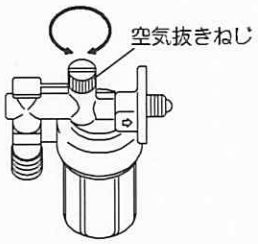
■こぼれた灯油はよくふきとってください。

■燃料切れの注意と空気抜きの方法

- 油タンクを空にしないように注意してください。
- 油タンクが空になり給油したときは空気抜きが必要となります。

空気抜きの方法

- 油タンクの送油バルブを開き、オイルフィルタの空気抜きねじをゆるめて送油経路内の空気を抜きます。
- 空気抜きねじ部から灯油があふれてきたら、空気抜きねじを元通り締め付けてください。



■灯油があふれたらきれいにふきとってください。
■空気抜きねじ部のOリングをなくしたり、きずをつけたりすると油漏れとなり、使用できなくなりますので注意して取り扱ってください。特に、空気抜きねじを外しますとOリングがねじから外れ、紛失するおそれがありますので、空気抜きのときはゆるめるだけで、外さないでください。

運転開始前の準備と確認

■給水および水漏れの確認

- 給湯栓から水を出してみて、熱交換器内に水の入っていることを確認してください。
- 浴槽の排水栓は、水漏れのないよう、しっかり閉めてください。
- 浴槽の水位を確認してから運転してください。浴槽の水位が循環口から10cm以上うえになるまで給湯（または給水）してください。（ふろあつめ運転の場合）

■送油経路の油漏れの確認

- 油タンクや送油管の接合部・給油コックなどから油漏れがないかどうか確認してください。

■電気配線の確認

- ⚠注意 **電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。火災の原因になります。**
- 電源は必ず適正配線された単相100Vのコンセントを使用してください。
- 電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用他の電気器具とのタコ足配線はしないでください。

■機器の周囲確認

- ⚠注意 **機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。**
- ⚠注意 **機器や排気口（吹出口）、給気口を波板などで囲わないでください。不完全燃焼や火災のおそれがあります。**（該当機種 FDW-SA470AXPM、FDW-SA380AXPM）

■ 給排気筒の確認（屋内設置機器）

- ⚠警告 **給排気筒（管、ホース）が外れたままで使用しないでください。外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。**（該当機種 FDW-SA470AXPFF）
- ⚠警告 **給排気筒トップの周りが雪でふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。**
（該当機種 FDW-SA470AXPFF）

4 使用方法

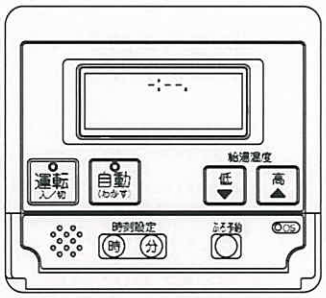
はじめてお使いになる場合

● 工場出荷時の初期設定は下記のとおりです。

項　　目	初 期 設 定	設定方法参照ページ
現 在 時 刻	ー：ー ー.	9 ページ
給湯温度調節	40℃	10 ページ
ふろ沸き上げ温度	40℃	13 ページ
湯張り量の設定	200L	13 ページ
ふろ予約時刻	PM 6：00	16 ページ

■ 現在時刻合わせ

現在時刻合わせはメインリモコンで行います。
設置後や長時間の停電後は運転ランプが点滅し、時計表示がバー表示になっています。



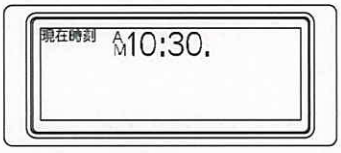
---

① 時と分を同時に約5秒間押し続けます。（発信音 ピッ ）
- 時計表示部が 現在時刻 PM12：00. の点滅表示になります。
- 音声ガイド「時と分を合わせてください」

---

② 時を時で合わせます。（発信音 ピッ ）

③ 分を分で合わせます。（発信音 ピッ ）



点滅したまま約5秒放置しておくと点灯表示になり現在時刻合わせが完了します。（発信音 ピッ ）

お願い　時計表示がバー表示にならない短い停電でも、現在時刻が遅れますので時刻設定しなおしてください。

使用方法（給湯）

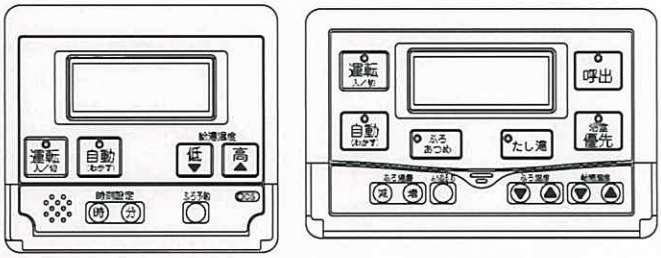
リモコンの表示消灯（節電機能）について

- リモコンの電力消費を抑えるため、約5分間給湯運転、ふろ運転が行われないとリモコンの蛍光管表示部が消灯します。
  運転ランプのみ点灯して運転スイッチが「入」であることをお知らせします。
  給湯運転、ふろ運転または、リモコンスイッチ操作を行うとリモコンの蛍光管表示部が点灯します。
  （給湯温度を60℃以上に設定したときは、高温のお湯が出るためリモコンの蛍光管表示部は消灯しません。）

■給湯運転の方法／給湯温度調節の方法

給湯運転はメインリモコン、浴室リモコンのどちらからでもできます。
（操作はメインリモコンで説明します。）

メインリモコン　　浴室リモコン



---

① 運転 入／切 を押して「入」にします。
- 運転ランプが点灯し、「給湯」または「高温」表示が点灯します。（発信音 ピッ ）
- 音声ガイド「給湯できます」

---

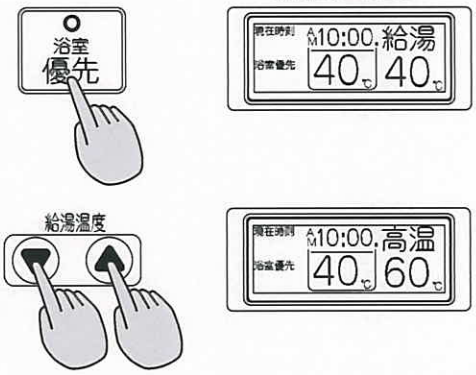
② 低 高 を押してお好みの温度にします。（発信音 ピッ ）
- 音声ガイド「給湯温度が変更されました」
- 37～50℃　1℃刻みで設定できます。
- 50～70℃　50℃、55℃、60℃、70℃の設定ができます。

- 温度設定が低い（49℃以下）とき、高 を約3秒以上押し続けると50℃に変更されます。
  また、温度設定が高い（41℃以上）とき、低 を約3秒以上押し続けると40℃に変更されます。
- 60℃以上に設定したときは「高温」表示が3回点滅後点灯します。
- 音声ガイド「あついお湯がでます」

浴室リモコンから給湯温度調節するとき

- 浴室リモコンの 浴室優先 を「入」にします。
- メインリモコンと浴室リモコンに「浴室優先」が表示されます。（発信音 ピッ ）
- 音声ガイド「浴室優先に変更されました」
- 給湯温度設定スイッチ ▼ ▲ を押してお好みの温度にします。（発信音 ピッ ）

浴室リモコン



メインリモコンと浴室リモコンの関係について

- 「浴室優先」が表示されていないとき
  メインリモコンで設定された湯温で給湯します。
  浴室リモコンで給湯温度調節はできません。
  浴室リモコンの 浴室優先 を「入」にしてから給湯温度調節をしてください。
- 「浴室優先」が表示されているとき
  浴室リモコンで設定された湯温で給湯します。
  メインリモコンで給湯温度調節はできません。
  浴室リモコンの 浴室優先 を「切」にしてから給湯温度調節をしてください。

使用方法（給湯）

③ 給湯栓を開くと自動的に点火します。
- 燃焼を開始し 表示が点灯します。

- 使いはじめは配管内の水が出ますので、お湯になるまでしばらく時間がかかります。

④ 給湯栓を閉じると自動的に消火します。
- 燃焼が停止し 表示が消灯します。

- リモコンで表示する温度と給湯する湯温は、配管長さや外気温等により必ずしも一致しません。目安としてお使いください。
- 自動運転またはたし湯運転のお湯張り中は、浴室リモコンで設定されたふろ温度で給湯します。給湯温度を高温に設定しているときは、お湯張りが終了すると高温のお湯がでますのでやけどにご注意ください。
- 凍結予防（通水による方法）以外、長時間リモコン運転スイッチを「切」の状態で通水しないでください。機内に結露水が発生し故障の原因になることがあります。

より静かにお使いいただくために

- 給湯量に応じて変化する能力比例燃焼を行いますので中～低能力ではいっそう静音で快適に使用できます。深夜など騒音が気になる場合は給湯栓を少し絞りますと運転音を低減させることができます。

■シャワーの使い方

シャワーは次のいずれかの方法でお使いいただくことをおすすめします。

- サーモ付混合水栓のときは、リモコンの給湯温度設定をシャワー温度より10℃以上高く設定し、サーモ付混合水栓の温度設定を40℃前後のシャワー温度に合わせてご使用ください。
- 右図のような2ハンドル混合水栓のときは、リモコンの給湯温度設定をシャワー温度より10℃以上高く設定し、混合水栓の給水栓を少し開いてから給湯栓を少しずつ開き、適温にしてお使いください。
  シャワー使用後、再使用するときは、はじめ給湯栓を少し絞りぎみにし、湯温が安定したらゆっくりと給湯量を増やしてください。

※給湯温度を50℃以上に設定することで、シャワー温度がより安定し快適なシャワーをご使用いただけますが、小さなお子様のいらっしゃるご家庭では、リモコンの給湯温度設定を44℃～46℃に設定し湯と水を混合してご使用ください。

ご注意

- **⚠注意 シャワーを使用する場合、手で湯の温度を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。**
- シャワー使用中に、他の人は温度設定を変えないでください。シャワーの湯温が変わり、やけどのおそれがあります。
- 他の給湯栓、給水栓が同時使用された場合は、一瞬熱い湯や、ぬるめのお湯が出たりすることがありますので必ず湯温を確認してから使用してください。
- シャワー使用直後の再使用や、湯量を急に絞ったときには一瞬熱いお湯や、ぬるめのお湯が出ることがありますのでご注意ください。

使用方法（給湯）

お願い

- シャワーを使用するときは必ず 浴室優先 を「入」にしてください。
- 「浴室優先」が「入」のときは、メインリモコンで給湯温度調節ができません。これはシャワー使用中に他の人がメインリモコンで給湯温度を変えるとやけどのおそれがあるためです。

■給湯量と給湯温度の早見表

[FDW-SA470AXPM、FDW-SA470AXPFF]

給湯温度＼水温	給湯量（L/分、計算値）		
	5℃（冬）	15℃（春・秋）	25℃（夏）
40℃	19	(27)	(44)
50℃	15	19	(27)
60℃	12	15	19

[FDW-SA380AXPM]

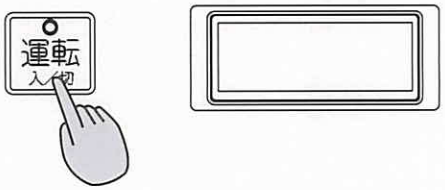
給湯温度＼水温	給湯量（L/分、計算値）		
	5℃（冬）	15℃（春・秋）	25℃（夏）
40℃	16	(22)	(37)
50℃	12	16	(22)
60℃	10	12	16

- （ ）内数値は湯水を混合した場合の給湯量の計算値です。
- 配管や給湯栓により給湯量は異なりますので目安としてください。
- 給湯中ふろ運転をしたときは、上表の数値より少なくなります。
- 給湯温度は給湯機の出口温度ですので給湯栓からの温度とは必ずしも一致しません。目安としてください。

■運転停止

お湯を長時間使用しないときや、外出するときは 運転 入/切 を押して運転を「切」にしてください。

- 運転ランプと時計表示が消灯します。（発信音 ピピッ ）



使用方法（ふろ）

ふろ運転は 自動 ・ ふろあつめ ・ たし湯 ・ ふろぬるめ ができます。

- **⚠注意 入浴中にふろ運転をすると、あつい湯が循環口から出ますのでやけどに注意してください。**
- 循環口フィルタの取り付けが不完全ですと、ふろのお湯が十分に沸き上がらないことがありますので、フィルタは確実に取り付けてください。

おふろの沸き上げ温度は浴室リモコンで設定します。

ふろ温度の設定方法

① 運転 入/切 を押して「入」にします。
- 運転ランプが点灯します。（発信音 ピッ ）
- 音声ガイド「給湯できます」

---

② ふろ温度設定スイッチ ▼ ▲ を押してふろの沸き上げ温度を設定します。（発信音 ピッ ）
- 音声ガイド「ふろ温度が変更されました」
- 37～48℃の範囲で1℃刻みで設定できます。
- 温度表示は設定温度であり、配管の長さや放熱等により浴槽内の湯温とは必ずしも一致しません。目安としてお使いください。

■おふろのお湯張り量の設定

お買い上げいただいたときは、ふろ湯量が２００Ｌに設定されていますが、浴槽の大きさに合せた量に変更できます。

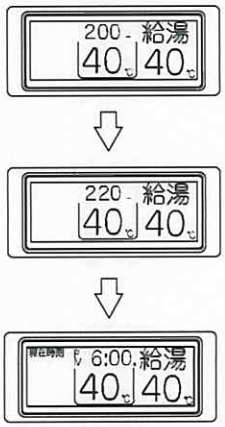
ふろ湯量の設定方法

① 運転 入/切 を押して「入」にします。
- 運転ランプが点灯します。（発信音 ピッ ）
- 音声ガイド「給湯できます」

---

② ふろ湯量設定スイッチ 減 増 を続けて押し希望のふろ湯量に設定します。（発信音 ピッ ）
- ふろ湯量は100L～400L の設定ができます。

③ ふろ湯量設定スイッチ 減 増 を操作しない状態が約5秒間経過すると、ふろ湯量が確定します。（発信音 ピッ ）
- 音声ガイド「ふろ湯量が変更されました」



使用方法（ふろ）

おふろの沸かしかた ― メインリモコン、浴室リモコンのどちらからでも自動運転ができます。―
（操作は浴室リモコンで説明します。）

■おふろを自動で沸かす

●浴槽が空のとき ― 設定されたふろ湯温でお湯張りし、設定温度まで沸き上げ約4時間保温します。

① 運転 を押して「入」にします。
- 運転ランプが点灯します。（発信音 ピッ ）
- 音声ガイド「給湯できます」

---

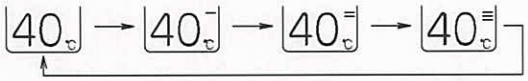
② 自動 を押して「入」にします。
- 自動ランプが点滅します。（発信音 ピッ ）
- お湯張りします 表示が3回点滅し、温度表示に戻ります。
- 音声ガイド「お湯張りします」

---

③ 湯面表示が点滅し、浴槽残湯の有無を確認します。

---

④ お湯張りを開始します。
- たし湯表示が点灯し、設定された湯量をお湯張りします。



---

⑤ お湯張りが完了します。
- たし湯表示が消灯し、湯面表示が点灯します。

---

⑥ 設定されたふろ温度まで沸き上げます。
- 湯面表示が点灯します。

---

⑦ 設定されたふろ温度に沸き上がると
- 自動ランプが点滅から点灯になります。
- 発信音「ピロロロン」を2回繰返します。
- 音声ガイド「おふろが沸きました」

---

⑧ 沸き上がり後 約4時間設定温度で保温します。
- 保温の必要がないときは、 自動 を押して「切」にします。

---

⑨ 保温が約4時間経過すると自動運転を終了します。
- 自動ランプ、湯面表示が消灯します。

使用方法（ふろ）

途中で自動運転を停止するときは、 自動（わかす） を押して「切」にしてください。

お願い

- 浴槽の排水栓が閉まっていることを必ず確認してください。
- 循環口からお湯張りしますから浴槽にふたをしてください。
- 自動運転を始めると、循環口からお湯が出たあと一旦止まりますが異常ではありません。これは浴槽内の残り湯の有無を確認しているためで、しばらくするとお湯張りを始めます。
- 自動運転中は、約20分ごとに追いだきしてふろ温度を保ちます。入浴のタイミングによっては少しぬるい場合もあります。
- 給湯栓から給湯中に自動運転またはたし湯運転を行うと、給湯量が一時的に少なくなることがあります。

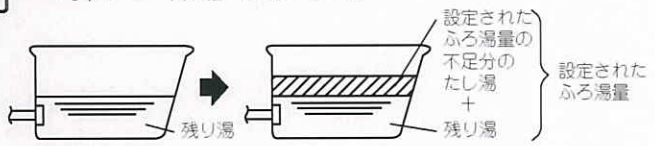
ご注意

- 自動運転またはたし湯運転中のお湯張り湯温は、浴室リモコンで設定されたふろ温度になります。このときの給湯湯温は給湯温度設定にかかわらず、ふろ温度設定の温度になります。
  給湯温度を高温に設定しているときは、お湯張りが終了すると高温のお湯が出ますのでやけどにご注意ください。
- 何度も 自動（わかす） を押して「入」「切」を繰り返すと浴槽からお湯があふれることがあります。

●浴槽の残り湯をそのまま沸かすとき

残り湯が循環口より上のとき ——— 自動（わかす） を押して「入」にします。

- 設定されたふろ湯量の不足分をたし湯し、設定温度まで沸き上げて約 4 時間保温します。
- 沸き上がり時の浴槽の湯量はばらつくことがあります。

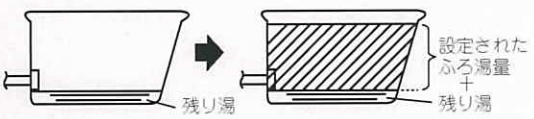


- 残り湯の温度がふろ温度設定に近い場合（7℃以内）は、たし湯を行いません。
- ふろの沸き上げ（残水量演算）中に給湯栓の開閉をくり返えすと、ふろの沸き上がりが遅くなることがあります。

- 夏などに前日の残り湯が冷めずに温かい場合（ふろ温度設定の7℃以内）は、たし湯を行わず沸き上げのみを行います。ふろ湯量がたりない場合は、沸き上げ後たし湯スイッチを押してたし湯運転をしてください。
- 自動運転は循環ポンプ及び配管内に呼び水を行いますので、水位が上昇することがあります。

残り湯が循環口より下のとき ——— 自動（わかす） を押して「入」にします。

- 設定されたふろ湯量をお湯張りし、設定温度まで沸き上げて約 4 時間保温します。
- 残り湯の量だけ浴槽の湯量が増えます。あふれるようでしたら、自動運転する前に残り湯を排水してください。

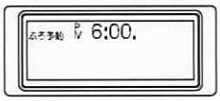


使用方法（ふろ）

■ふろ予約運転

入浴したい時間に待たずに入浴できる自動運転の予約スイッチです。
ふろ予約運転はメインリモコンから行います。
ふろ予約をすると、予約時刻の約 30 分前に自動運転が始まり、ふろの沸き上げが完了すると
ブザー、音声で入浴可能をお知らせします。予約時刻まではタイマー表示が表示されています。

ふろ予約時刻午後 6：00の場合 ── 工場出荷時の設定 ──



① ふろ予約 を押して「入」にします。
- 現在時刻 表示が消灯し、ふろ予約 PM 6：00 表示が点灯します。（発信音 ピッ ）
- ふろ予約スイッチは運転スイッチの「入」「切」に関係なく受け付けます。
- ふろ予約運転を設定していても、給湯運転はできます。運転スイッチを「入」「切」してもふろ予約運転は取り消されません。

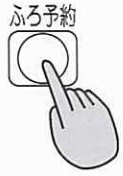
② お湯張りして設定温度まで沸きあがると
- 発信音「 ピロロロン 」を2回繰り返します。
- 音声ガイド「おふろが沸きました」と報知後、約4時間保温運転を行います。

ふろ予約運転を途中で解除するときは、ふろ予約 を押して「切」にします。

- 浴槽に残り湯があるときや残り湯の湯温が高いときは、ふろ予約時刻より早く沸き上がることがあります。
- お湯張り中に給湯をしたり、浴槽の残り湯の湯温が低いときは、ふろ予約時刻より遅れて沸き上がることがあります。

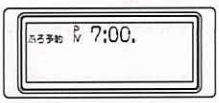
お願い 現在時刻を設定しないとふろ予約運転はできません。 現在時刻を合わせてください。
（9ページをお読みください。）

■ふろ予約時刻の変更



① ふろ予約 を押して「入」にします。
- 現在時刻 表示が消灯し、ふろ予約 PM 6：00 表示が点灯します。（発信音 ピッ ）

② 時 分 でふろ予約時刻を変更します。（発信音 ピッ ）
- ふろ予約時刻が変更されるとそのままふろ予約運転となります。



使用方法（ふろ）

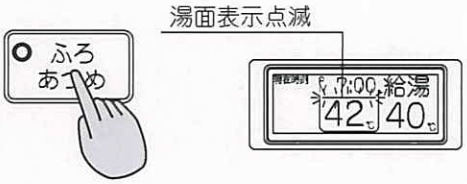
入浴したら

●ぬるいときは ―― ふろあつめ を「入」にします。
●あついときは ―― ふろ を「入」にします。
●お湯の量を増やしたいときは ―― たし湯 を「入」にします。

■ふろあつめ運転

入浴してぬるいときは、ふろあつめ運転をしてください。適温になったら「切」にしてください。

① 運転 が「入」になっていることを確認します。
ふろあつめ を押して「入」にします。
- ふろあつめランプが点灯します。（発信音 ピッ ）
- あつくします 表示が3回点滅し、あつめ沸き上げ温度表示（ふろ温度設定＋2℃）が点灯します。
- 音声ガイド「あつくします」
- 湯面表示が点滅します。



② 浴槽に湯があると湯面表示が点灯になり、ふろを沸き上げます。

③ ふろ温度設定より約2℃高く沸き上げて運転を停止します。
- ふろあつめランプ、湯面表示が消灯します。

●ふろあつめ運転中にふろ温度設定スイッチ ▲ を押すとあつめ沸き上げ温度表示＋1℃まで切り替わります。
- ふろあつめ温度が50℃を表示するとこれ以上の設定はできません。

●ふろあつめ運転中にふろ温度設定スイッチ ▼ を押すとあつめ沸き上げ温度表示－2℃まで切り替わります。
- ふろあつめ温度が37℃を表示するとこれ以下の設定はできません。

適温になり途中でふろあつめ運転を停止するときは、ふろあつめ を押して「切」にしてください。

使用方法（ふろ）

■たし湯運転

ふろのお湯が少ないときは、たし湯運転で設定されたふろ温度でお湯張りされ、浴槽のお湯を増やせます。

たし湯量設定・たし湯運転の方法

① 運転 入/切 が「入」になっていることを確認します。
たし湯 を続けて押す回数で希望のたし湯量が設定できます。

- たし湯ランプが点灯します。（発信音 ピッ ）
- たし湯量の表示が点灯します。

1回押し▶	30Lたし湯します（約5cm）
2回押し▶	60Lたし湯します（約10cm）
3回押し▶	90Lたし湯します（約15cm）
4回押し▶	OFF

② たし湯 を押してから約5秒後、設定されたたし湯量を循環口より注湯します。
- 音声ガイド「たし湯します」
- たし湯表示が点灯します。

たし湯量設定が30Lの場合
30L → 30L → 30L → 30L

③ たし湯運転終了
- たし湯ランプが消灯します。
- たし湯量の表示が消灯します。

途中でたし湯運転を停止するときは、たし湯 を押して「切」にしてください。

お願い
- 給湯栓から給湯中にたし湯運転を行うと、給湯量が一時的に少なくなることがあります。
- たし湯運転中はふろ温度設定の変更はできません。ふろ温度設定の変更は、たし湯運転を行う前にしてください。

使用方法（ふろ）

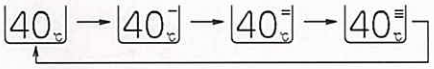
■ふろぬるめ運転

入浴してあついときは、ふろぬるめ運転をしてください。
適温になるまで、ふろぬるめ運転を数回繰返してください。

① 運転 が「入」になっていることを確認します。
ふろぬるめ を押して「入」にします。（発信音 ピッ ）
- ぬるくします 表示が3回点滅し、初めの表示に戻ります。
- 音声ガイド「ぬるくします」

---

② 浴槽の循環口より注水します。
- たし湯表示が点灯します。



---

③ ふろぬるめ運転終了
- たし湯表示が消灯します。

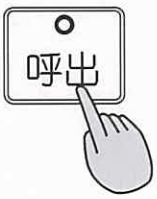
- 適温になって途中でふろぬるめ運転を停止するときは、ふろぬるめ を押して「切」にしてください。
- ふろぬるめ運転をしてもふろの湯がまだあついときは、再度ふろぬるめ運転をしてください。

お願い
- ふろぬるめ運転中またはふろぬるめ運転終了後に給湯すると、しばらく水が出ます。
- 給湯中にふろぬるめスイッチを押して「入」にした場合は、給湯使用終了後にふろぬるめ運転を開始します。
- ふろぬるめ運転開始時に循環口からふろ配管内のあつい湯が出ることがあります。

■呼出スイッチについて

おふろから赤ちゃんの湯上りなどを知らせることができます。

①浴室リモコンの呼出スイッチ 呼出 を押します。
- 呼出ランプが点灯します。
- 発信音 ピピピピッ を5回繰返します。
- 音声ガイド「おふろで呼んでいます」



②呼出ランプが消灯します。

使用方法

■オプションスイッチ

オプションスイッチ機能で、故障時の連絡先の電話番号登録や、リモコンの音量、明るさなどが変更できます。

●オプションスイッチには11種類の機能があります。

No.	表　示	内　容	初期設定	データ
1	ＴＥＬ登録	異常時の連絡先（電話番号）を登録すると異常（モニターサイン）時に表示します。	0120919302	最大12桁登録可能
2	保温時間	ふろ沸き上がり報知後の保温時間が変更できます。	4時間	0・1・2・4・6・12 ∞（連続）　（時間）
3	あつめ温度	ふろあつめの沸き上げ温度（ふろ設定温度＋あつめ温度）が変更できます。	＋2℃	0・＋1・＋2・＋3（℃）
4	※1 循環ポンプ	循環ポンプを駆動してふろ配管の凍結を予防する機能（循環ポンプ凍結予防運転）です。	有り	有り・無し
5	メイン音量	メインリモコンの音量が変更できます。	中	無・小・中・大
6	浴室音量	浴室リモコンの音量が変更できます。	中	無・小・中・大
7	リモコン操作音	接続している全てのリモコンの操作音有無を選択することができます。	有り	有り・無し
8	メイン輝度量	メインリモコンの蛍光管表示部の明るさを変更できます。	明	暗・明
9	浴室輝度量	浴室リモコンの蛍光管表示部の明るさを変更できます。	明	暗・明
10	※2 補水量補正	自動補水機能の有無の切替や、補水量の補正をすることができます。	0	補水無し・－30～＋30 （10刻み）　（%）
11	表示消灯	お湯を使用しないと、接続している全てのリモコンの蛍光管表示部を消灯する節電機能です。	有り	有り・無し

※1 基本的に循環ポンプ凍結予防運転は「有り」でご使用ください。循環ポンプ凍結予防運転を「無し」にした場合は、循環ポンプ凍結予防運転が働かなくなりふろ配管が凍結する場合があります。
必ずふろ配管の凍結予防ヒータの追加、保温材の追加等十分な処置をおこなってください。（凍結予防対策をしない、または不十分な対策によりふろ配管が凍結した場合は責任を負えません。）

※2 補水量の補正について
ふろ自動スイッチを押したときに浴槽に残り湯があった場合、ふろ湯量設定値までたりないお湯の量をたし湯する機能があります。（自動補水機能。15ページをお読みください。）たりないお湯の量を計算して決定しますが、計算で得られるたりないお湯の量に対して増減補正をかける機能が、補水量補正になります。

例１）.補水量補正「＋10」にした場合
ふろ湯量設定値よりも 100L たりないという計算結果が得られた場合、＋10%補正して110L たし湯します。

例２）.補水量補正「補水無し」にした場合
残り湯がふろ湯量設定値よりも少ない場合でも、たし湯しません。

使用方法

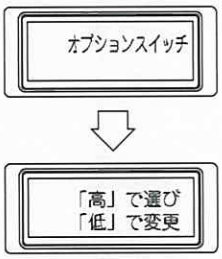
■オプションスイッチの操作・設定変更方法

オプションスイッチはメインリモコンから行います。

No.1 TEL 登録 の変更方法

① 運転 ON/OFF が「切」の状態でメインリモコンの ○OS （オプションスイッチ）部の穴にボールペンの先などを差し込み、スイッチを押して「入」にします。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）

- オプションスイッチ 表示の次に、「高」で選び「低」で変更 の表示が点灯します。

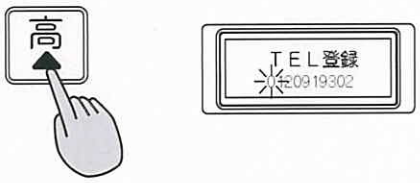


---

②給湯温度 高▲ スイッチを1回押します。

- TEL 登録 表示が点灯します。

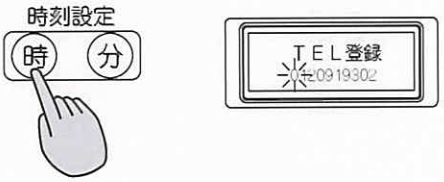
※初期設定はコロナサービスセンターの電話番号が入力されています。



---

③時刻設定 時 スイッチを押して点滅しているバー表示を希望の数字に合わせます。

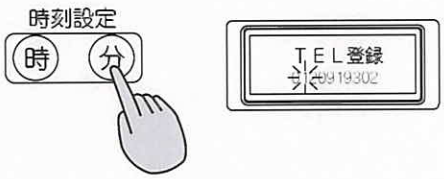
- 合わせた数字が点滅します。



---

④時刻設定 分 スイッチを押して合わせた数字を確定します。

- 合わせた数字が点灯に切り替わります。



---

⑤以下同様に時刻設定 時 分 スイッチで電話番号を登録します。

---

⑥ ○OS スイッチを押して電話番号の登録を終了します。

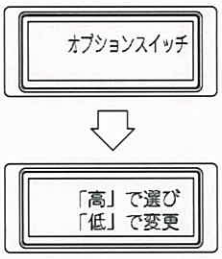
- 故障時にはエラーNo.表示と共に連絡先の電話番号が表示されます。

使用方法

No.2～No.11の方法

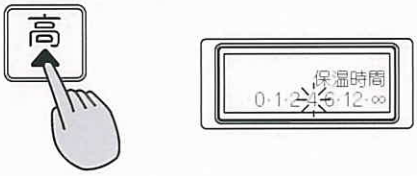
① 運転/ストップ が「切」の状態でメインリモコンの ○OS （オプションスイッチ）部の穴にボールペンの先などを差し込み、スイッチを押して「入」にします。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）

- オプションスイッチ 表示の次に、「高」で選び「低」で変更 の表示が点灯します。



---

②給湯温度 高 スイッチを押すごとに表示内容が前記一覧表のNo.1～No.11の順に切り替わります。
変更する内容の表示を選びます。



---

③給湯温度 低 スイッチを押すごとに点滅しているデータが切り替わりますので、設定したいデータを選びます。

No.10補水量補正の設定データは、時 分スイッチで選びます。

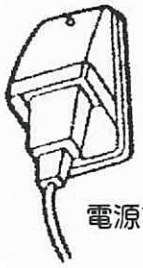
---

④ ○OS スイッチを押して変更を終了します。

- ○OS スイッチを「入」にしたときや、給湯温度 高 スイッチで表示内容を切り替えたとき、約10秒以上次の操作が行われないと、そのときのデータでオプションスイッチ機能が終了します。
- 設定されたデータは、停電があっても保持されます。

凍結予防

- 冬期は暖かい地域でも給水・給湯配管、ふろ配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。このような事故を予防するため、次のような処置をお取りください。
- 凍結による修理は、保証期間内でも保証の対象外となります。


電源プラグは抜かない

凍結予防運転による方法（通常のとき）

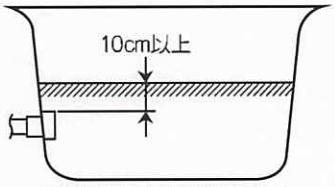
- 電源プラグは、コンセントから抜かないでください。

■給湯側

- この機器には、外気温が下がると自動的に機内を保温するヒータが組み込まれています。機内の凍結は予防できますが、機外の給水・給湯配管の凍結予防はできませんので、必ず保温材やヒータで、保温してください。

■ふろ側

- 循環ポンプが凍結するおそれのある気温になると、ポンプが自動的に運転して凍結を予防します。
  凍結のおそれのあるときは、浴槽に、循環口より10cm 以上水を残して、ポンプが空運転しないよう注意してください。



浴槽の水は循環口より
10cm以上残す。

- この方法は、循環ポンプの凍結は予防しますが、ふろ配管の凍結は防げませんので、ふろ配管は必ず保温材やヒータで、保温してください。また、機器や循環口との接続部についても、露出していると凍結のおそれがありますので必ず、保温してください。

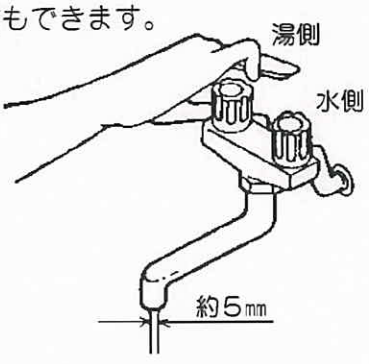
通水による方法（異常寒波など外気温が−15 ℃以下になる日やそれ以上の外気温でも風のある日）

- 電源プラグは、コンセントから抜かないでください。

■給湯側

- この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管・バルブ類の凍結予防もできます。

①リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
②給湯栓から1分間に約400cc （給湯栓からの水の太さ約5mm ）の水を出してください。
〔流量が不安定なことがありますので念のため約30分後にもう一度流量を確認してください。〕



■ふろ側

- 凍結予防運転による方法と同様に、循環ポンプが凍結するおそれのある気温になると、循環ポンプが自動的に運転して凍結を予防します。

・この場合もふろ配管はしっかり保温することが必要です。
・浴槽の水は循環口より10cm 以上残してください。

凍結予防

水抜きによる方法（異常寒波などのとき・長期不在のとき）

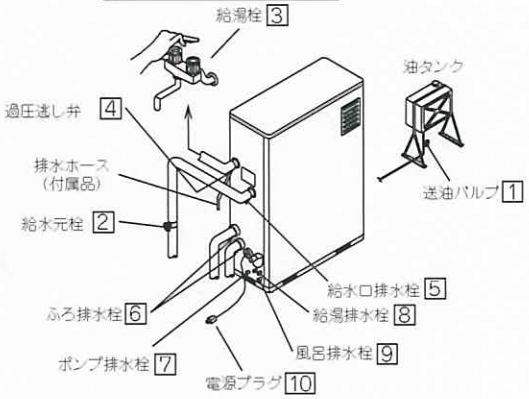
●水抜きの方法

- ⚠注意 **給湯運転、ふろ運転直後は機器内のお湯が高温になっていますので、冷えてから行ってください。やけどのおそれがあります。**
- 過圧逃し弁、排水栓を外すと機器内の水が出ますので、設置場所によっては容器で受けてください。

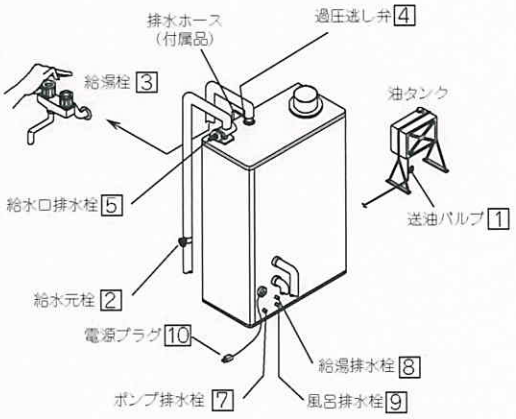
①リモコンの運転スイッチを「切」にします。
②浴槽の水を排水し、油タンクの送油バルブ[1]、給水元栓[2]を閉めます。
③全ての給湯栓[3]を開きます。
④過圧逃し弁[4]、給水口排水栓[5]を外します。
- 外した部品はなくさないでください。

⑤リモコンの運転スイッチが「切」の状態で浴室リモコンの浴室優先スイッチを約5秒間押します。
リモコンの蛍光管表示部に「水抜き中」が点灯し、循環ポンプを運転して配管内の水を浴槽へ排水します。
⑥約10分後「水抜き中」の表示が消灯した後、ふろ排水栓[6]を2個とも外します。
(FDW-SA470AXPM、FDW-SA380AXPMのみ)
⑦給湯排水栓[8]、ふろ排水栓[9]およびポンプ排水栓[7]すべてを外します。
⑧電源プラグ[10]をコンセントから抜きます。
※取り外した過圧逃し弁、排水栓はなくさないでください。

FDW-SA470AXPM
FDW-SA380AXPM



FDW-SA470AXPFF

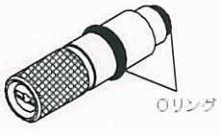


●水抜き後再使用するとき

①全ての給湯栓[3]を閉めます。
②外した過圧逃し弁、排水栓すべてを取り付けます。
- 右図を参照して、取り付け場所を間違わないでください。間違えると機器が正常に作動せず故障の原因となります。
- 取り付け部が凍結している場合は、お湯をかけて解凍してから確実に取り付けてください。

[4]・・・・・・・・・過圧逃し弁（真ちゅう性）
[5]～[9]・・・・・・・排水栓（樹脂製、Oリング1個）
（[6]はFDW-SA470AXPM、FDW-SA380AXPMのみ）

③給水元栓[2]を開き、すべての給湯栓[3]から水が出ることを確認します。
④油タンクの送油バルブ[1]を開きます。
⑤電源プラグ[10]をコンセントに差し込みます。
⑥循環ポンプへの呼び水のため、ふろぬるめ運転を1回行ってください。（19ページをお読みください。）



過圧逃し弁 4
（真ちゅう製）

排水栓 5 ～ 9
（樹脂製、Oリング1個）

- 電源プラグを抜いたことで時計表示が初期設定になっています。時刻設定をしてください。（9ページをお読みください。）

凍結したときのご注意

凍結すると以下のような症状が現れることがあります。その場合は、溶けるのを待ってから使用してください。
- 給湯栓から水が出ない、水の出が悪い。（給湯配管の凍結）
- ふろが沸かない（循環しない）、リモコンにエラーU2またはエラーU3が表示する。（ふろ配管の凍結）

使用上の注意

■やけどに注意

- **⚠注意 燃焼中や消火直後は、高温部、給排気筒トップ、吹出口、枠上部に手などふれないでください。やけどのおそれがあります。**

■みだりに飲用に用いないでください。

- 使用水の水質、配管材料の劣化、水あかなどにより、水質が変わることがあります。なお、熱交換器や配管内にたまっていた水は飲用または調理に用いないでください。

■ふろ運転について

- 浴槽の循環口は、タオルなどでふさがないでください。
- 浴槽の循環口フィルタは必ず取り付けて運転してください。
- 浴槽の循環口フィルタは浴槽の清掃のときに必ず清掃してください。

■入浴剤や洗剤について

- 硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器が腐食する原因となりますので使用しないでください。

■シャワーについて

- **⚠注意 シャワーを使用する場合、手で湯の温度を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。**

■雷が発生したとき

- 雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントより抜いてください。

■リモコンについて

- リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。急な温度変化や熱湯でやけどのおそれがあります。
- リモコンに水をかけないでください。浴室リモコンは防水構造ですが故意に水をかけると故障の原因になります。

長期間使用しないとき

長期間使用しないときは、次の処置をしてください。

- 水抜きを行ってください。（24ページの水抜きによる方法をお読みください。）
- 油タンクの送油バルブを閉めてください。
- リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

5 安全装置

対震自動消火装置

地震（震度約5以上）や強い振動、衝撃を受けた場合、自動的に消火します。エラー表示：2	●地震によって作動した場合は、設置場所へ行き周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れ、給排気筒の外れなど異常がないことを確認してから運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にしてください。

点火安全装置・燃焼制御装置

燃焼が完全に開始されないとき、または万一炎が立消えになったときは炎検知器（フレームアイ）が感知して、バーナの運転を停止します。 エラー表示：4	●点火不良の原因を取り除き、リモコンの運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にしてください。

停電安全装置

停電や電源プラグが抜けたとき、運転を停止します。	●停電復帰後は、運転を開始します。使用しないときは、リモコンの運転スイッチを「切」にします。 ●長い停電のときは、停電復帰後に運転ランプが点滅します。このときは、運転スイッチを「入」にしてください。

空だき防止装置

熱交換器に水が入っていないとき、機具を運転させない装置です。	●正しく給水されているか確認後、運転操作をしてください。

6 その他の装置

その他の装置が作動したときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

● **送風機回転検知** ――― 送風機の回転に異常があったとき、運転を自動的に停止します。

7 点検・手入れ

日常の点検・手入れ

■点検、手入れのときの注意

- メインリモコンの運転スイッチを「切」にして、機器が冷えてから行ってください。やけどのおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電気部品は絶対に分解しないでください。

■点検・手入れの必要項目、時期、方法

1. 周囲の可燃物（日常）

- **⚠注意 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。**

2. ほこり（日常）

- 機器の上や周囲のほこりは燃焼不良の原因となりますので常に清掃してください。
- 電源プラグにほこりがたまっている場合は除去してください。

3. 油漏れ、油のたまり、油のにじみ（日常）

- 送油経路（特に接合部）の油漏れがないか、また機器の下に灯油のたまり、にじみがないか点検してください。油漏れのあるときは、使用を中止してお買い上げの販売店に連絡してください。

4. ゴム製送油管の点検、交換の目安

- **⚠注意 ゴム製送油管は、屋外で使用しないでください。屋外での使用は禁止されています。**
- 屋内でゴム製送油管を使用しているときは、膨潤、収縮、変質、変形、ひび割れがないか確認してください。ひび割れは見ただけでは見つけにくいので手で少し曲げて確認し、ひび割れなどの異常があるときは交換してください。交換の目安は、3年に一度です。

5. 油タンク（水抜きを含む。）（1ヵ月に1回以上）

- 油タンク内には、水・ゴミがたまりやすく、多くたまるとバーナの方へ流れ出て燃焼不良の原因になります。油タンク内に水がたまっていないか確認し、たまっているときは油タンクの水抜きドレンロから水抜きをしてください。

6. 給排気筒の接続部のゆるみおよびトップの周囲（日常）（該当機種 FDW-SA470AXPFF）

- **⚠警告 給排気筒（管、ホース）が外れたままで使用しないでください。外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。**
- **⚠警告 給排気筒トップの周りが雪でふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。**
- 給排気筒トップの周囲に燃えやすいものがないか、確認してください。

日常の点検・手入れ

7. 水漏れ（日常）

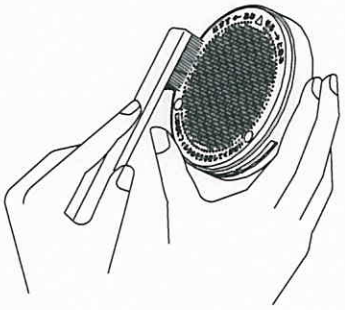
- 機器本体および配管・継手部から水漏れがないか、確認してください。

8. オイルフィルタの点検（1年に1回以上）

- オイルフィルタに水やゴミがたまっていないか販売店に点検を依頼してください。

9. 循環口フィルタの掃除（日常）

- 浴槽の掃除のときは、必ず掃除してください。
- 循環口のフィルタを左方向にまわして外し、古歯ブラシ等で正面の網部分にたまったゴミを、内側と外側から取り去り、水洗いした後で元通り取り付けてください。
- 循環口フィルタの取り付けが不完全ですと、ふろのお湯が十分に沸き上がらないことがありますので、フィルタは確実に取り付けてください。

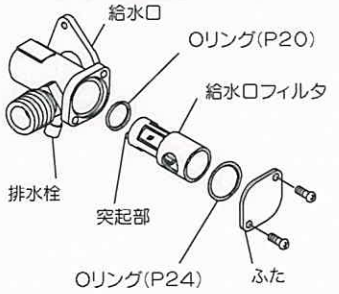


10. 給水口フィルタの掃除（3ヵ月に1回以上）

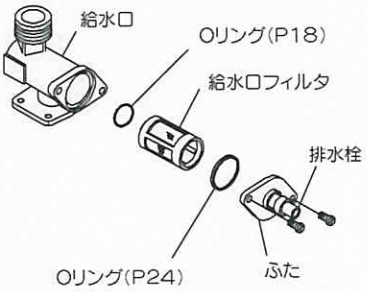
- 給水口フィルタにゴミがたまっていないか確認してください。
  ①給水元栓を閉めます。
  ②給湯栓を開けます。
  ③過圧逃し弁を外し、排水栓をゆるめて排水した後、給水口フィルタを外しゴミを洗い流してください。
- 過圧逃し弁および排水栓からの排水を設置場所によっては2L程度の容器で受けてください。
  ④右図のように、各部品を元通り組み付けてください。

FDW-SA470AXPM、FDW-SA380AXPMは、給水口フィルタの突起部を給水口の内部壁面にあるへこみ部に合わせ（突起部を給水口の給水配管側にする）給水口フィルタを給水口の中に差し込んでください。突起部がへこみ部に入り込まないと、給水口フィルタが給水口の中に完全に入らず水もれの原因となります。

FDW-SA470AXPM
FDW-SA380AXPM



FDW-SA470AXPFF



11. アース（日常）

- アース線がアース棒と機器の間で切れていないか、アース棒は十分に地中に埋め込まれているか時々確認してください。不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

定期点検（有料）

■定期点検のおすすめ

長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要です。機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。
なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に基づいて4～6年に1回程度の点検をおすすめします。
点検はお買い上げの販売店または、修理資格者［（財）日本石油燃焼機器保守協会（TEL03-3499-2928）で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など］のいる店などにご相談ください。

8 故障・異常の見分け方と処置方法

早見表による見分け方

- 万一、具合の悪いときは、下記の早見表にもとづいて点検・処置してください。
- 原因のわからないときや、処置のむずかしいときは、機器の使用を中止し、お買い上げの販売店または、お近くのコロナお客様ご相談窓口にご連絡ください。

現　　象	原　　因	処 置 方 法
運転スイッチを入れても運転ランプがつかない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込む。
	電源の元スイッチ（ブレーカ）が「切」になっている。	電源の元スイッチを「入」にする。
	停電している。	通電するまで待つ。
運転ランプは点灯するが、給湯栓を開いてもお湯が出てこない。	給水元栓・給湯栓のしぼりすぎで、給湯量が少ない。	給水元栓・給湯栓を開き、給湯量を増やす。
リモコンにエラー表示「エラー 2」が点滅する。	「対震自動消火装置の作動」地震（震度約5以上）や強い振動、衝撃を受けた。	地震によって作動した場合は、設置場所へ行き周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れ、給排気筒の外れなどの異常がないことを確認してから運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にする。
リモコンにエラー表示「エラー 4」が点滅する。	油タンクの送油バルブが閉まっている。	油タンクの送油バルブを開き、運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にする。
	油切れしている。	油タンクに給油し、送油経路内の空気抜き（8ページをお読みください。）をしたのち、運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にする。
	上記の処置を行ってもエラー表示が出る場合は、販売店に連絡してください。	
高温のお湯が出ない。低温のお湯がでない。	給湯温度設定が適切でない。	給湯温度を再設定する。10ページをお読みください。
おふろのお湯がぬるい。おふろのお湯があつい。	ふろ温度設定が適切でない。	ふろ温度を再設定する。13ページをお読みください。
	循環口フィルタがつまっている。	循環口フィルタを掃除する。
	循環口フィルタの取り付けが完全でない。	循環口フィルタを右方向にしっかり回す。
おふろが沸かない。大きな音（ブーン）がする。リモコンにエラー表示「エラーU2」が点滅する。	循環口フィルタがつまっている。	循環口フィルタを掃除する。
	ふろ配管が凍結している。	ふろ配管が溶けるまで待ってください。
燃焼音が異常。 ススを出して燃える。 油漏れしている。 給排気筒が外れている。（該当機種 FDW-SA470AXPFF）	販売店に連絡してください。 ⚠警告 ●このままご使用を続けると大変危険ですので、使用を中止し販売店に連絡してください。	
水漏れしている。 アース線が切れている。アースがない。	販売店に連絡してください。 ⚠注意 ●このままご使用を続けると感電のおそれがありますので、使用を中止し販売店に連絡してください。	

次の現象は故障ではありません

■リモコンの表示が消える
リモコンの電力消費を抑えるため、約5分間給湯運転、ふろ運転が行われないとリモコンの蛍光管表示部が消灯します。運転ランプのみ点灯して運転スイッチが「入」であることをお知らせします。給湯運転、ふろ運転または、リモコンスイッチ操作を行うとリモコンの蛍光管表示部が点灯します。

■給湯栓をしぼりすぎると運転しない
この機器は給湯栓を極端にしぼりすぎるとバーナが着火しないことがあります。
給湯栓をさらに開いてください。

■同時給湯したときの湯温の変動
2箇所同時に給湯すると、給湯配管の方法、給湯栓の開き具合によって、それぞれの給湯栓のお湯の量が異なり、湯温が変動することがあります。特に、シャワーをご使用中に他の給湯栓を同時に使用しますと湯温や湯量が変動しますので、ご注意ください。

■給湯栓開閉時の湯温変動
給湯栓を閉じて再び開いたときは、ぬるくなったり、あつくなったりすることがあります。

■給湯栓を開いてもすぐお湯が出ない
機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出るまで少し時間がかかります。

■給湯栓を開くとお湯の量が変化する
給湯栓を開いた直後に、お湯の量が少なくなる場合があります。湯温を安定させるためにマルチサーモメカが水量を調節しているためです。

■お湯の白濁
出湯直後にお湯が白く濁って見え、しばらくすると透明になることがあります。水圧が高いと水に溶け込んでいた空気が分離して、細かい気泡となって出てくる現象で無害なものです。（減圧弁を使用すると少なくなります。お買い上げの販売店にご相談ください。）

■浴槽や洗面台に青いものが付着する
水中に含まれる微量の銅イオンと湯あか（人の身体や石けんからでた脂肪分）が反応してできた「銅石けん」が、青く見えるためです。銅石けんは無害で健康上問題はありません。
浴槽や洗面台をこまめに掃除することで付着しにくくなります。

■運転中に時々「ジージー」音がする
出湯温度を安定させるために、マルチサーモメカが作動している音です。

■運転停止後しばらく送風機の音がする
燃焼室内の排ガスを排出するために送風機が運転している音です。

■バーナの運転が断続
給湯量が少ないと変動幅の少ない安定した湯温で給湯するために、マイコンの制御によりバーナが着火、消火を繰り返すことがあります。

■排気口からの白煙（冬期）
冬期には排ガス中の水蒸気が水滴に変わるため排気口（吹出口）から白煙となって出ることがあります。

次の現象は故障ではありません

■給油後エラー4が点滅する

油切れになると給油しても、送油経路内にたまった空気のためバーナが着火せず、「エラー4発生」がリモコンに点滅することがあります。このときは送油経路内の空気抜きを行ってからリモコンの運転スイッチを入れ直してください。
空気抜きの方法は39ページの「試運転」をお読みください。

■過圧逃し弁からお湯（水）が出ることがある

給湯使用直後やふろ運転中に、熱交換器内の上昇した圧力を逃がすため、わずかな間お湯（水）が出ることがあります。

■冬期間、ふろ運転をしていないのに循環ポンプが運転する

循環ポンプの凍結予防運転によるものです。

■試運転時煙が出たり臭いがする

試運転時、機器の燃焼経路に付着した機械油が燃えるため煙が出たり臭いがすることがありますが、しばらく燃焼すると出なくなります。

モニターサインによる見分け方

- リモコンのエラー表示によって、故障原因を判断することができます。
- 販売店に連絡していただく際は、表示されているエラー表示の数字やアルファベットをお知らせください。

エラー表示	処置方法

■モニター表示するが運転可能なとき

E1 浴室リモコン接続不良	E1	機能の一部が故障していますので、販売店に連絡してください。
E2 メインリモコン接続不良	E2	
6 給湯サーミスタ断線	6	
9 給水サーミスタ断線（ふろあつめ運転のみ可能）	9	
22 ミキシング弁異常	22	
A ふろサーミスタ断線（給湯運転のみ可能）	A	
A1 油温サーミスタ断線	A1	
A2 油温サーミスタ短絡	A2	
A6 熱交サーミスタ断線（給湯運転のみ可能）	A6	
A8 熱交出口サーミスタ断線	A8	
U1 流水スイッチ短絡（給湯運転のみ可能）	U1	
U3 給湯フローセンサ異常、湯張りフローセンサ異常（給湯運転のみ可能）	U3	
L1 給湯温度高温異常	L1	
H7 排気温度異常	H7	
U2 流水スイッチ断線、流水スイッチON不能（給湯運転のみ可能）	U2	30ページをお読みください。30ページの処理を行ってもエラー表示が出る場合は、販売店に連絡してください。
リモコンに「給油」が点滅・・給油検知の作動（別売部品のキュウユケンチソウチOT-2取り付け時）		油タンク内の灯油が少なくなりました。早めに給油してください。

■モニター表示して全停止のとき

2 地震（震度5以上）や強い振動、衝撃を受けた。（対震自動消火装置の作動）	2	30ページをお読みください。30ページの処置を行ってもエラー表示が出る場合は、販売店に連絡してください。
4 不着火、途中消火、フレームアイ断線検知	4	

■「88」がモニター表示されたとき（故障・異常ではありません）

メインリモコンケース部に表示されている点検受付窓口（0120-665-785）に給湯機の点検を依頼してください。

※本製品は消費生活用製品安全法（消安法）で指定された特定保守製品です。製品が10年相当使用された場合、点検時期である旨をリモコンの表示部に「88」表示でお知らせします。10年目以降は1年ごとに「88」が表示されます。

上記以外のモニターが表示した場合は、使用を中止して販売店に連絡してください。

9 部品交換のしかた

- 循環口フィルタ
  循環口フィルタは破損したものを使っていますと、循環ポンプにゴミが入り故障の原因となりますので、傷んだときは早めに交換してください。
- 部品交換は処理が難しいので、お買い上げになった販売店に依頼してください。
- 修理を依頼する場合は、（財）日本石油燃焼機器保守協会（TEL03-3499-2928）で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）などのいる販売店などに依頼してください。
- 部品交換は**純正部品**とご指定ください。

10 仕　様

型式の呼び		FDW-SA470AXPM（基本型式UKB-SA470AXP(M)）	FDW-SA470AXPFF（基本型式UKB-SA470AXP(FF)）	FDW-SA380AXPM（基本型式UKB-SA380AXP(M)）
種類	給排気方式	屋外用開放形	屋内用密閉式強制給排気形	屋外用開放形
	燃焼方式	圧力噴霧式		
	加熱形態	瞬間形		
	加熱方式	2缶2水路式		
	給水方式	水道直結式		
	ふろがま経路の循環方式	強制循環式		
点火方式		高電圧放電方式（ポストイグニッション方式）		
使用燃料		灯油（JIS 1号灯油）		
燃料消費量	給湯側	53.45kW（5.20L/h）		44.14kW（4.29L/h）
	ふろ側	17.06kW（1.7L/h）（初期水温10℃のとき）		
出力	ふろ側	14.5kW		
湯沸効率	ふろ側	85.0%		
連続給湯効率	給湯側	87.0%		
連続給湯出力	給湯側	46.5kW		38.4kW
熱交換器容量	給湯側	0.9L		
	ふろ側	1.1L		
使用圧力(最高使用圧力)		1MPa		
伝熱面積	給湯側・ふろ側	1.6m²		
外形寸法		高さ795mm 幅660mm 奥行210mm	高さ845mm 幅300mm 奥行600mm	高さ795mm 幅660mm 奥行210mm
質量		41kg		
電源電圧及び周波数		100V　50/60Hz		
定格消費電力	給湯使用	点火時　74W/ 74W　燃焼時110W/110W		点火時　74W/ 74W　燃焼時 99W/ 99W
	給湯・ふろ同時使用	点火時　150W/175W　燃焼時185W/210W		点火時　150W/175W　燃焼時175W/200W
待機時消費電力		3.0W/3.0W		
給排気筒の型式の呼び		――	QU8－3L	――
給排気筒の呼び径		――	D80	――
給排気筒の壁貫通部の孔径		――	φ120mm	――
排気温度		260℃以下		
騒音レベル		52dB	50dB	
ノズル	噴霧量	4.5L/h		
	スプレーパターン	エバーロイ社のホロコーン		
	噴霧角度	78度		
循環管取付口径		R1/2（15Aオネジ）		
基準浴槽		有効水量　200～220L(2人用)		
電流ヒューズ		10A		
温度ヒューズ		184℃		
安全装置		・対震自動消火装置　・点火安全装置　・停電安全装置　・燃焼制御装置　・空だき防止装置		
その他の装置		・送風機回転検知		
付属品		・メインリモコン　・浴室リモコン　・リモコンカバーセット　・給水口保温材 ・出湯口保温材　・リモコン取付用木ねじ　・リモコン取付用ねじ　・Y端子 ・排水ホース　・取扱説明書　・工事説明書　・所有者票		
		・φ8×2.5m銅パイプセット ・調節ボルト用金具 ・とって取付ねじ ・埋込みプラグ	・ゴム製送油管セット	・φ8×2.5m銅パイプセット ・調節ボルト用金具 ・とって取付ねじ ・埋込みプラグ

11 アフターサービス

アフターサービスについては、製造元である株式会社コロナが行います。

保証について

- この取扱説明書の裏表紙に保証書がついています。
  保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
- 次のような原因による故障および、事故につきましては、保証の対象になりませんので注意してください。（詳しくは保証書をお読みください）

■変質灯油や不純灯油など、または灯油以外の燃料使用による故障や事故。
■誤った使用方法による故障や事故。
■一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
■凍結による事故および破損。

修理を依頼されるとき

- 「故障・異常の見分け方と処置方法」にしたがってお調べください。直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- ご連絡いただきたい内容は次の通りです。
  ①品名
  ②型式の呼び
  ③お買い上げ日
  ④故障の状況（できるだけ具体的に）
- 修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または、この取扱説明書の最後のページに記載されている「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。
- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

■補修用性能部品について

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■故障・修理の際の連絡先

- お買い上げの販売店または、この取扱説明書の最後のページに記載されている「お客様ご相談窓口」にご連絡ください。

12 据付け

据付け工事は販売店に依頼する

据え付けや移動工事は販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。

据付け場所の選定及び標準据付け例

据え付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。
工事説明書の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり販売店または据付業者とよくご相談してください。
また、「標準据付け例」については37ページを参照してください。

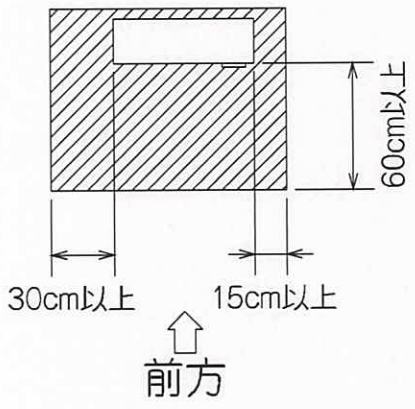
●据付け場所の選定

- 機器を据え付ける場所は、水道工事、電気工事などの付帯工事のできる場所を選んでください。また、火災予防上の所定の距離、隣家への防音上の配慮が必要です。
- 積雪の多い地方では、積雪時に給排気筒が雪でふさがれないような取り付け場所を選定してください。また、風がよどむような場所では、排ガスを再度吸込んで不完全燃焼を起こすおそれがあります。（該当機種 FDW-SA470AXPFF）
- 適切な位置に電源コンセントがない場合には、電気配線を電力会社の指定工事店に依頼し所定の配線をしてください。

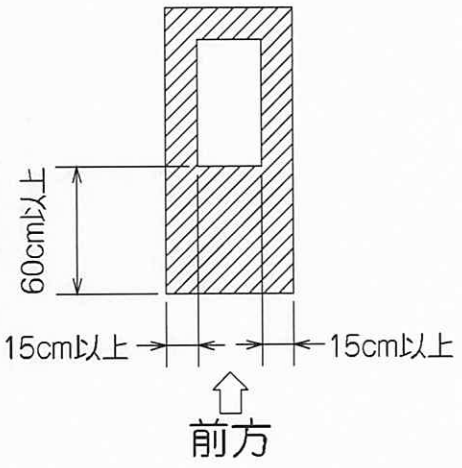
●点検・修理スペース

- 必ず機器の点検・修理ができるように設置してください。斜線内は点検スペースですから物を置いたり囲ったりしないでください。

（該当機種 FDW-SA470AXPM、
FDW-SA380AXPM）



（該当機種 FDW-SA470AXPFF）



据付け場所の選定及び標準据付け例

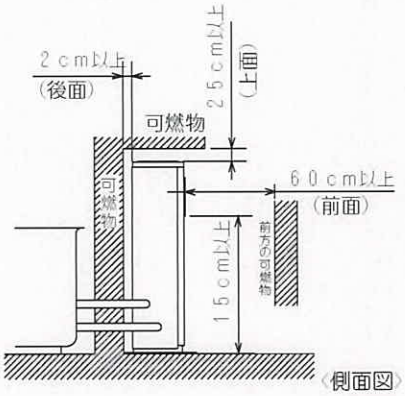
●標準据付け例

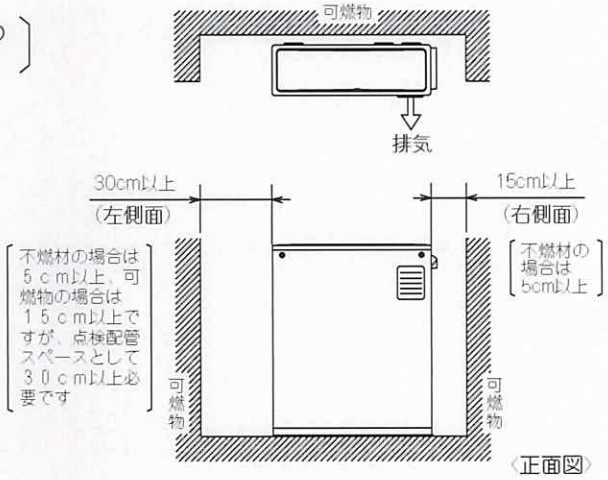
■FDW-SA470AXPM、FDW-SA380AXPMの標準据付け例

・防火性能認証品ですので、下記寸法で設置できます。

[屋外設置]

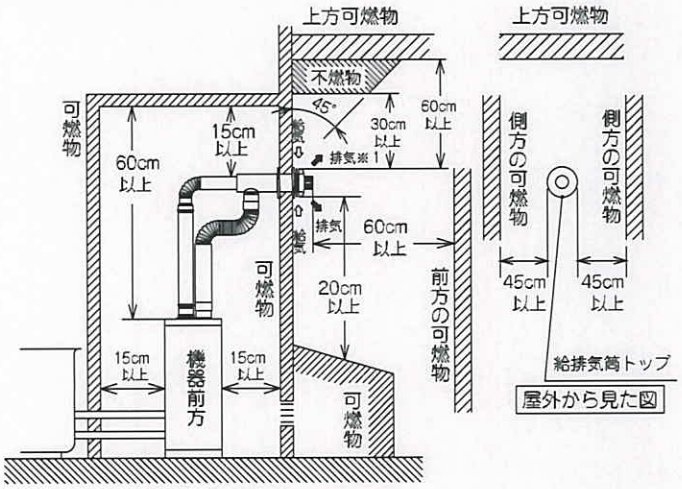
〔機器前方の点検スペースと左側面の配管スペースを確保してください。〕





■FDW-SA470AXPFFの標準据付け例

[屋内設置]



※1. 給排気筒は下り勾配の事。

〔機器前方の点検スペースを確保してください。〕

騒音防止について

設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう十分配慮して設置場所を選択してください。

据付け後の確認

据え付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据え付けられているかどうかを確認してください。

■周囲の材料と本体との距離

- 機器の周囲の壁は金属以外の不燃材料（コンクリート、コンクリートブロック、モルタル、しっくいなど）で仕上げてありますか。
- 火災予防上の所定の距離が十分ありますか。

■給排気筒の壁貫通部および寸法

（該当機種 FDW-SA470AXPFF）

- 小屋裏、天井裏などにある部分は、金属以外の不燃材料で防火上有効な被覆を行ってください。
  可燃性の壁、天井、小屋裏、天井裏などを貫通する部分およびその付近では、給排気筒の接続はしないでください。
- 本体から給排気筒まで延長管3m以内、曲がり箇所が3箇所以内になっていますか。
- 給排気筒トップから周囲の壁までの距離は火災予防上の所定の距離が十分ありますか。

■空気取入口、換気口

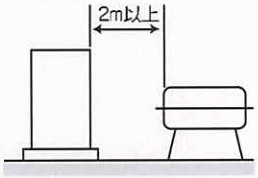
- 機器は密室に設置することなく、空気の取り入れおよび換気は十分行える場所ですか。

■アース

- **⚠注意 専用のアース（線）を必ず取り付けてください。感電のおそれがあります。アース（線）は、ガス管や水道管、電話や避雷針のアース（線）には絶対に接続しないでください。**

■油タンクと本体の距離

- 屋外に設置する200L以上1,000L未満の油タンクは機器の間に防火上有効な壁などがない場合2m以上離してありますか。
  屋内に設置する油タンクは容量にかかわらず2m以上離してください。



- 油タンクは機器と同一床面に置かれていますか。
  ※大容量の油タンクを使用するとき最大落差は2m以内にしてください。
- **⚠注意 ゴム製送油管は屋外で使用しないでください。屋外での使用は禁止されています。**

■電源コンセントの位置

- 電源コンセントは適切な位置にありますか。

■凍結予防

- 凍結予防を考慮した配管工事がしてありますか。

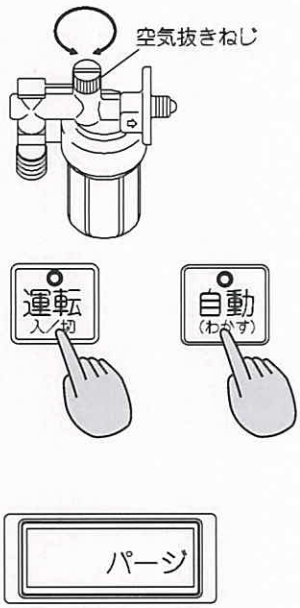
試運転

試運転は販売店または据付業者とご一緒に必ず行ってください。

- 試運転終了後は、凍結予防のため［凍結予防］の項に従って処置してください。
- 長期間ご使用にならない場合は、［凍結予防］の項に従って必ず水抜きを行ってください。（24ページをお読みください。）

運転準備 （8ページもお読みください。）

- 給油及び送油経路の空気抜きをしてありますか。また、油漏れはありませんか。
- 給湯栓を開いて水が出ますか。（熱交換器の中に水が入っていますか。）また、配管に水漏れはありませんか。
- 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。
- 各リモコンの機器への配線に間違いはありませんか。



■初期運転時の空気抜き方法

①油タンクの送油バルブを開き、機器のオイルフィルタの空気抜きねじをゆるめ送油経路内の空気を抜きます。空気ねじ部から灯油があふれてきたら、空気抜きねじを元通り締め付けてください。

②リモコンの運転スイッチが「切」の状態で、メインリモコンの 運転 入/切 と 自動 わかす スイッチを同時に約 5 秒間押し続けます。リモコンの表示部に「パージ」表示が点灯し、空気抜き運転を開始します。

③給湯栓を全開にします。最大火力で約5分間燃焼後、着火火力で約5分間燃焼した後、「パージ」表示が消灯し、空気抜き運転を停止します。

④給湯栓を閉めます。これで空気抜きは終わりました。

- 空気抜き運転中、バーナ送油経路内の空気のため、一時的に煙が出ることがありますが、すぐに正常燃焼になります。
- 空気抜き運転中にエラー4が発生したときは、リモコンの運転スイッチまたは本体プリント基板のリセットスイッチでリセットした後、空気抜き運転をやり直してください。

試運転

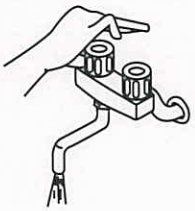
運転 ―― 給湯 ―― （10ページもお読みください。）

■運転開始手順

給湯運転はメインリモコン、浴室リモコンのどちらからでもできます。

① 運転 入/切 を押して「入」にします。
- 運転ランプが点灯します。（発信音 ピッ ）
- 音声ガイド 「給湯できます」

②給湯栓を開くと自動的に点火し 表示が点灯します。
給湯栓を閉じると自動的に消火し 表示が消灯します。



■初期運転時の異常現象

- 水道配管工事のときのゴミが機器に流れ込み、フローセンサにひっかかるとバーナは運転しません。フローセンサを調べると共に給水口フィルタを掃除してください。
- 送油経路内の空気抜きが不十分ですとエラー4が表示されることがあります。
  その場合は、リモコンの運転スイッチまたは本体プリント板のリセットスイッチを押してリセットした後、空気抜き運転をやり直してください。（39ページをお読みください。）

■正常運転の目安

- 給湯栓の開閉により着火、消火が行えること。
- 燃焼させた状態で、リモコンの給湯温度調節の操作で給湯温度が変化すること。
- 異常発煙、異常振動音がないこと。（初め白い煙が出ますが、しばらくすると消えます。）
- 油漏れ、水漏れがないこと。

試運転

運転 ―― ふろ ―― （13・14ページもお読みください。）

●循環ポンプへの呼び水をしますので自動スイッチを押して試運転を必ず行ってください。

■運転開始手順

① 運転 入/切 を押して「入」にします。
- 運転ランプが点灯します。（発信音 ピッ ）
- 音声ガイド「給湯できます」

② 自動 わかす を押して「入」にします。
- 自動ランプが点滅します。（発信音 ピッ ）
- お湯張りします 表示が3回点滅し、温度表示に戻ります。
- 音声ガイド「お湯張りします」

■正常運転の目安

- 自動スイッチを押してから約2分後に浴槽の循環口よりお湯張りを行い、燃焼を開始します。
- 浴槽に設定湯量をお湯張りして設定温度に沸き上げると、自動的に燃焼が停止し、沸き上がりメロディが鳴り、音声ガイドで「おふろが沸きました」とお知らせしたあと、約4時間保温運転します。

運転停止

- リモコンの運転スイッチを押して「切」にします。

―― メ モ ――　メモ欄として活用してください。

―― メ モ ――　メモ欄として活用してください。

―― メ モ ――　メモ欄として活用してください。

―― メ モ ――　メモ欄として活用してください。

お客様ご相談窓口一覧表

修理サービスや製品についてのご相談は機種名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記のご相談窓口にご依頼ください。

ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、下記のお近くの窓口にご相談ください。

名称、所在地、電話番号は、変更する場合がありますのでご了承ください。

●アフターサービスのお問い合わせは下記へどうぞ

コロナサービスセンター

0120-919-302
（修理受付専用ダイヤル）

携帯電話・PHS等からは最寄のサービスセンターへ直接おかけください。

FAX 0120-919-322

受付時間　午前9時～午後7時（日曜、祝祭日は除く）

北海道地区	札幌支店	札幌市白石区平和通16丁目南1-19	〒003-0028	TEL(011)864—0440(代表)	FAX(011)863—3154
	旭川営業所	旭川市東旭川南1条2丁目2-5	〒078-8261	TEL(0166)37—2330(代表)	FAX(0166)37—2338
	北見営業所	北見市卸町1丁目1-3	〒090-0056	TEL(0157)36—9009(代表)	FAX(0157)36—5959
	釧路営業所	釧路市花園町4-17	〒085-0038	TEL(0154)24—4191(代表)	FAX(0154)24—0451
	帯広営業所	帯広市西18条北1丁目17-1	〒080-0048	TEL(0155)35—7518(代表)	FAX(0155)35—7510
	函館営業所	函館市西桔梗町21-2	〒041-0824	TEL(0138)48—6070(代表)	FAX(0138)48—6080
	北海道地区サービスセンター	札幌市白石区米里3条2丁目6-25	〒003-0873	TEL(011)879—2121(代表)	FAX(011)871—2400
北東北地区	青森支店	青森市古館1丁目12-38	〒030-0946	TEL(017)742—8255(代表)	FAX(017)742—8275
	青森地区サービスセンター	青森市古館1丁目12-38	〒030-0946	TEL(017)743—2971(代表)	FAX(017)743—1118
	八戸営業所	八戸市売市4丁目4-7	〒031-0073	TEL(0178)24—5289(代表)	FAX(0178)45—4290
	八戸地区サービスセンター	八戸市売市4丁目4-7	〒031-0073	TEL(0178)47—6609(代表)	FAX(0178)71—1344
	弘前営業所	弘前市田園1-2-1	〒036-8086	TEL(0172)28—3910(代表)	FAX(0172)28—0191
	弘前地区サービスセンター	弘前市田園1-2-1	〒036-8086	TEL(0172)26—4770(代表)	FAX(0172)29—1133
	盛岡営業所	盛岡市門2-1-42	〒020-0823	TEL(019)622—4791(代表)	FAX(019)622—5244
	水沢営業所	奥州市水沢区水沢工業団地4丁目79	〒023-0002	TEL(0197)22—4155(代表)	FAX(0197)22—4452
	盛岡地区サービスセンター	盛岡市門2-1-42	〒020-0823	TEL(019)604—0281(代表)	FAX(019)604—0283
	秋田営業所	秋田市泉中央4丁目4-18	〒010-0917	TEL(018)864—5671(代表)	FAX(018)864—8468
	秋田地区サービスセンター	秋田市外旭川三千刈109-1	〒010-0802	TEL(018)864—5219(代表)	FAX(018)864—5760
南東北地区	仙台支店	仙台市宮城野区日ノ出町1-7-32	〒983-0035	TEL(022)235—3181(代表)	FAX(022)236—8810
	山形営業所	山形市東青田3-6-28	〒990-2423	TEL(023)642—3255(代表)	FAX(023)642—3254
	庄内営業所	酒田市錦町1-183-1	〒998-0103	TEL(0234)31—0571(代表)	FAX(0234)31—0581
	郡山営業所	郡山市亀田1-51-9	〒963-8033	TEL(024)938—2240(代表)	FAX(024)938—3021
	南東北地区サービスセンター	仙台市宮城野区日ノ出町1-7-31	〒983-0035	TEL(022)783—1791(代表)	FAX(022)783—1792
関東地区	北関東支店	さいたま市北区宮原町1-674-2	〒331-0812	TEL(048)651—1722(代表)	FAX(048)651—6370
	水戸営業所	水戸市笠原町653-2	〒310-0852	TEL(029)241—2172(代表)	FAX(029)241—4268
	つくば営業所	つくば市谷田部6788-19	〒305-0861	TEL(029)839—5325(代表)	FAX(029)836—1913
	宇都宮営業所	宇都宮市簗瀬町2313	〒321-0933	TEL(028)632—5105(代表)	FAX(028)632—5205
	太田営業所	太田市高林東町2375	〒373-0825	TEL(0276)38—6571(代表)	FAX(0276)38—5508
	高崎営業所	高崎市問屋町西1-3-22	〒370-0007	TEL(027)361—4806(代表)	FAX(027)361—9139
	首都圏支店	東京都北区豊島8-4-8	〒114-0003	TEL(03)3927—1151(代表)	FAX(03)3927—1160
	立川営業所	立川市高松町1-22-3	〒190-0011	TEL(042)519—5271(代表)	FAX(042)528—2382
	千葉営業所	松戸市高塚新田95-5	〒270-2222	TEL(047)312—8330(代表)	FAX(047)312—8338
	横浜営業所	横浜市戸塚区原宿4丁目7-13	〒245-0063	TEL(045)852—4008(代表)	FAX(045)852—5540
	甲府営業所	山梨県中巨摩郡昭和町西条2491-2	〒409-3866	TEL(055)268—1567(代表)	FAX(055)268—1569
	関東地区サービスセンター	東京都北区豊島8-4-8	〒114-0003	TEL(03)3911—1131(代表)	FAX(03)3927—1130
信越地区	新潟支店	三条市曲渕3-2-15	〒955-0864	TEL(0256)32—2126(代表)	FAX(0256)35—8519
	新潟東営業所	新潟市東区江南1-6-41	〒950-0855	TEL(025)286—9131(代表)	FAX(025)286—3313
	長野営業所	長野市大豆島5312	〒381-0022	TEL(026)221—5111(代表)	FAX(026)221—0039
	松本営業所	松本市笹賀大久保原7852	〒399-0033	TEL(0263)26—0051(代表)	FAX(0263)25—9961
	信越地区サービスセンター	三条市曲渕3-2-15	〒955-0864	TEL(0256)32—2129(代表)	FAX(0256)32—2137
北陸地区	金沢支店	金沢市駅西新町1-1-25	〒920-0027	TEL(076)260—0567(代表)	FAX(076)260—0775
	富山営業所	富山市田中町2-3-15	〒930-0985	TEL(076)444—0567(代表)	FAX(076)444—0611
	福井営業所	福井市和田東1-607	〒918-8237	TEL(0776)23—0567(代表)	FAX(0776)23—0580
	北陸地区サービスセンター	金沢市駅西新町1-1-25	〒920-0027	TEL(076)260—0038(代表)	FAX(076)260—0738
東海地区	名古屋支店	名古屋市熱田区桜田町16-11	〒456-0004	TEL(052)746—6600(代表)	FAX(052)884—6551
	岐阜営業所	岐阜市六条南2-7-8	〒500-8358	TEL(058)268—7555(代表)	FAX(058)268—7550
	静岡営業所	静岡市駿河区高松2-15-30	〒422-8034	TEL(054)238—0005(代表)	FAX(054)238—0006
	沼津営業所	沼津市西椎路888-1	〒410-0303	TEL(055)968—6210(代表)	FAX(055)968—6212
	津営業所	津市高茶屋3-29-38	〒514-0819	TEL(059)234—8471(代表)	FAX(059)234—8472
	東海地区サービスセンター	名古屋市熱田区桜田町16-11	〒456-0004	TEL(052)746—6603(代表)	FAX(052)884—6554
近畿・四国地区	大阪支店	吹田市南金田1-8-47	〒564-0044	TEL(06)6380—2111(代表)	FAX(06)6386—7262
	彦根営業所	彦根市正法寺町南出78	〒522-0024	TEL(0749)24—6239(代表)	FAX(0749)26—2116
	京都営業所	京都市伏見区竹田殿川原町211	〒612-8414	TEL(075)643—2002(代表)	FAX(075)643—0870
	福知山営業所	福知山市荒河東町68	〒620-0061	TEL(0773)22—0827(代表)	FAX(0773)23—7592
	神戸営業所	神戸市西区枝吉5-132	〒651-2133	TEL(078)922—2431(代表)	FAX(078)922—2438
	高松営業所	高松市今里町1-8-5	〒760-0078	TEL(087)835—1711(代表)	FAX(087)835—0160
	松山営業所	松山市西垣生町780-3	〒791-8044	TEL(089)968—7351(代表)	FAX(089)968—7353
	近畿・四国地区サービスセンター	吹田市南金田1-8-47	〒564-0044	TEL(06)6386—5670(代表)	FAX(06)6386—5588
中国地区	広島支店	広島市安佐南区祇園3-27-20	〒731-0138	TEL(082)871—3310(代表)	FAX(082)871—3306
	米子営業所	米子市目久美町235-1	〒683-0035	TEL(0859)33—8157(代表)	FAX(0859)23—0709
	岡山営業所	岡山市北区辰巳35-103	〒700-0976	TEL(086)243—7751(代表)	FAX(086)243—7191
	徳山営業所	周南市徳山字一ノ井手5631-4	〒745-0882	TEL(0834)22—5567(代表)	FAX(0834)22—5589
	中国地区サービスセンター	広島市安佐南区祇園3-27-20	〒731-0138	TEL(082)871—3315(代表)	FAX(082)871—0272
九州地区	福岡支店	福岡市博多区東比恵2-2-40	〒812-0007	TEL(092)474—5771(代表)	FAX(092)474—5775
	北九州営業所	北九州市小倉北区愛宕2-6-4	〒803-0828	TEL(093)592—8611(代表)	FAX(093)592—8666
	長崎営業所	長崎県西彼杵郡時津町左底郷浜田74-1	〒851-2106	TEL(095)882—7710(代表)	FAX(095)882—7767
	熊本営業所	熊本市尾ノ上1-11-12	〒862-0913	TEL(096)367—7361(代表)	FAX(096)369—6323
	大分営業所	大分市三佐1-19-7	〒870-0108	TEL(097)523—5161(代表)	FAX(097)523—5162
	宮崎営業所	宮崎市霧島3-59-2	〒880-0032	TEL(0985)29—1680(代表)	FAX(0985)25—0685
	鹿児島営業所	鹿児島市田上7-16-5	〒890-0034	TEL(099)281—1321(代表)	FAX(099)281—1252
	九州地区サービスセンター	福岡市博多区東比恵2-2-40	〒812-0007	TEL(092)474—6001(代表)	FAX(092)474—6414
沖縄地区	沖縄営業所	宜野湾市宇地泊738 シーサイド・パーク102	〒901-2227	TEL(098)897—5677(代表)	FAX(098)897—5679

15121102

株式会社コロナ

〒955-8510　新潟県三条市東新保7-7

TEL(0256) 32-2111〈代表〉

ホームページ　http://www.corona.co.jp/

石油給湯機付ふろがま

無料修理保証書

品　番	FDW-SA470AXPM FDW-SA470AXPFF FDW-SA380AXPM		
保証対象部分	保証期間	部品代	工料など
本　体	1　年	無　　料	

- 本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
- お買い上げの日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただくことがございますので、ご了承ください。

★お買い上げ日	平成　　年　　月　　日
★お客様	ご芳名
	ご住所　〒（　　-　　）
	電話　（　　）

見本

★販売店	住所・店名 電話（　　）

★印欄に記入のない場合は、無効となりますから、必ず記入の有無をご確認ください。
〈無料修理規定〉をよくお読みください。

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書にしたがった正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店が無料修理致します。
2．保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に依頼してください。
なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3．ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4．ご事情により、本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、コロナお客様ご相談窓口一覧表をご覧の上、お近くの窓口にお問い合わせください。
5．次の場合には保証期間内でも保証の対象外となります。
（イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
（ロ）お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下等による故障および損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧、異常水圧、異常水質（温泉水、地下水、井戸水等）、指定外の使用電源（電圧、周波数）および燃料、給水の供給事情による故障および損傷
（ニ）指定外の燃料、不純燃料の使用による故障および損傷
（ホ）一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷
（ヘ）水垢もしくは凍結による故障および損傷
（ト）当社製品の純正部品を使用しなかった場合の故障および損傷
（チ）当社または、当社指定の取扱販売店以外で点検、修理した場合の故障および損傷
（リ）据付け工事の不備による故障および損傷
（ヌ）本書の提示がない場合
（ル）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
6．本書は日本国内においてのみ有効です。
7．本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お近くのコロナお客様ご相談窓口にお問い合せください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後7年です。

製造元　株式会社コロナ
〒955−8510 新潟県三条市東新保7−7
TEL（0256）32−2111

215WA0865　-0 1 2 3 Ⓝ 24